

長周期地震動に関する認知度調査

報告書

平成29年3月22日

気象庁地震火山部管理課
地震津波防災対策室

. 調査概要

調査概要

調査目的

本調査は、長周期地震動に関する情報の周知広報や普及啓発を進めるための基礎資料として、長周期地震動の影響を強く受けるであろう方々の認識を調査し、今後の周知広報や普及啓発の推進に資することを目的とする。

調査対象

東京23区、大阪市、名古屋市に居住する20才以上の男女

回収数

1,500サンプル

調査方法

インターネット調査

調査期間

平成29年2月24日～平成29年2月27日

. 調查結果

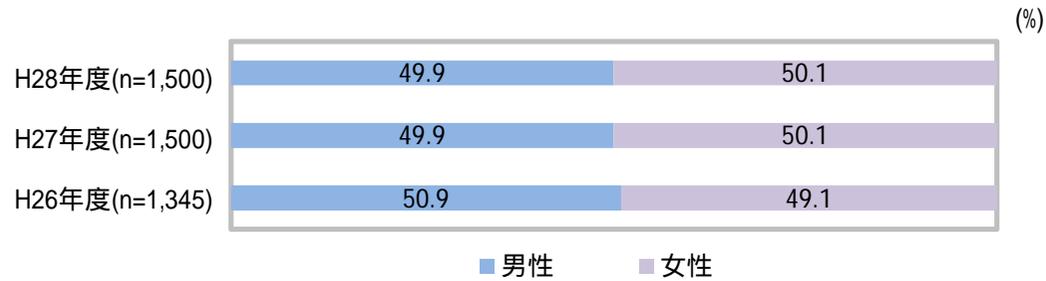
調査結果概要

アンケート調査の主な結果は次のとおり

- ▶ 長周期地震動という言葉の認知について、「見たり聞いたりしたことがあった」と回答した人の割合は5割弱(49.4%)となっており、H26年度、27年度調査と比較すると、わずかに下降傾向となっている。
- ▶ 長周期地震動の内容理解について、6割以上の人知っているもの(「高層ビルや長い橋などは揺れが大きくなる」、「低層の建物ではあまり揺れを感じていなくても、高層ビル高層階では立ってられないほどの揺れになることがある」、「コピー機やワゴンなどキャスター付きのものが大きく動くことがある」、「高層階ではゆっくりとした揺れが長く続く」と、3割程度の人にしか知られていないもの(「関東平野、濃尾平野、大阪平野等の大きな平野部では長周期の揺れが大きくなる」、「低層の建物ではあまり揺れを感じていなくても、高層ビルではエレベーターのワイヤーが絡まったり傷ついたりすることがある」と)がある。
- ▶ 長周期地震動を見聞きしたことがある人に対して、長周期地震動階級の認知について聞いたところ、「言葉も内容も知っていた」と回答した人の割合は2割弱(17.5%)、「言葉は知っていたが、内容は詳しくは知らなかった」と回答した人の割合は4割台半ば(43.9%)となっており、言葉を知っていると回答した人の割合(認知度)は6割強(61.4%)となっており、H27年度調査と比べて上昇傾向となっている。
- ▶ 長周期地震動の予測情報の利用について、「利用しようと思う」と回答した人の割合は6割弱(58.3%)、一方「よく分からない」と回答した人の割合は3割弱(28.5%)となっている。
- ▶ 長周期地震動の予測情報に含まれればよいと思うものについて、「知りたい場所での長周期地震動による大きな揺れがあるのかないのかの予想」が5割弱(49.5%)で最も高く、次いで「予想される揺れの状況(人への影響)」が4割台半ば(46.0%)となっている。

【対象者属性】

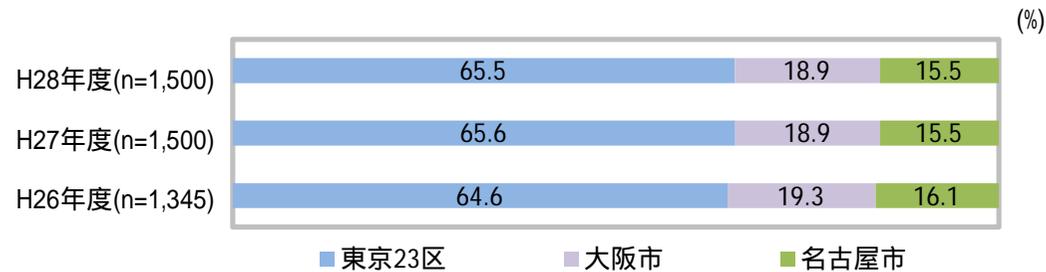
〔性別〕



〔年代〕

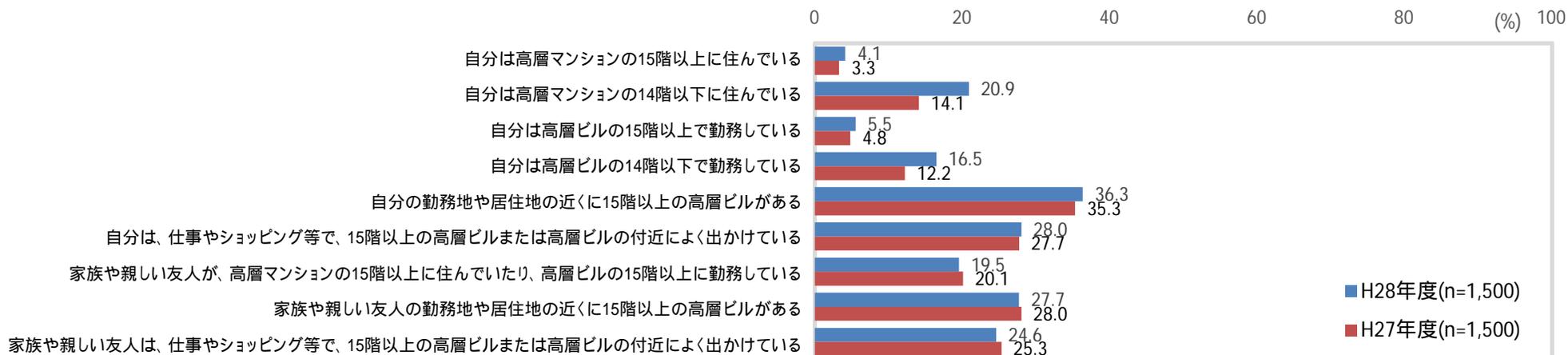


〔居住地〕



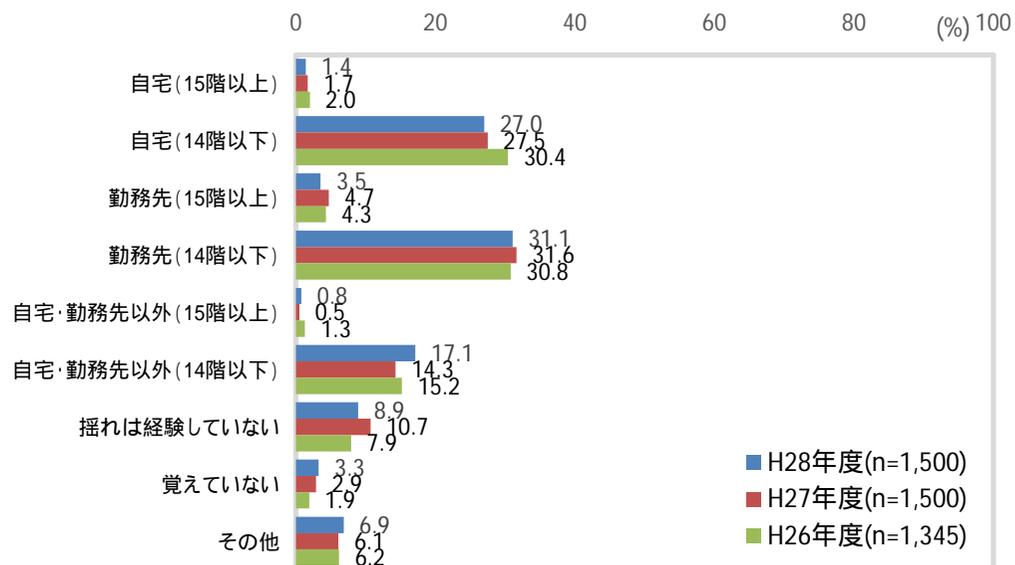
【対象者属性】

〔高層ビルとの関係〕



数値は「当てはまる」と回答された割合を示している。

〔東日本大震災の際、揺れを感じた場所〕



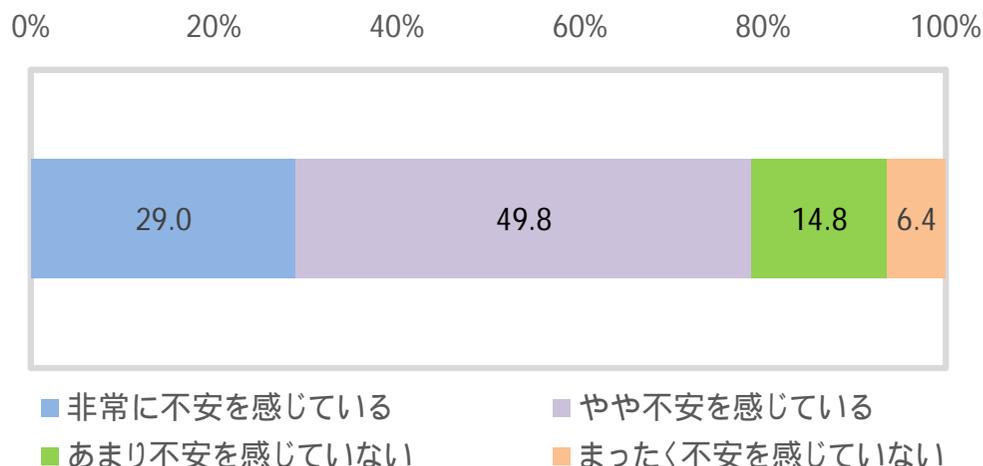
【地震などに対する意識について】

〔地震が引き起こす被害等に対する不安〕

- 地震が引き起こす被害等に対する不安について、「非常に不安を感じている」と回答した人の割合は3割弱(29.0%)、「やや不安を感じている」と回答した人は5割弱(49.8%)となっており、不安を感じていると回答した人は合わせて8割弱(78.8%)となっている。

【Q1】あなたは、地震が引き起こす被害(建物の倒壊や家具の転倒や落下など)に不安を感じていますか。

n=1,500

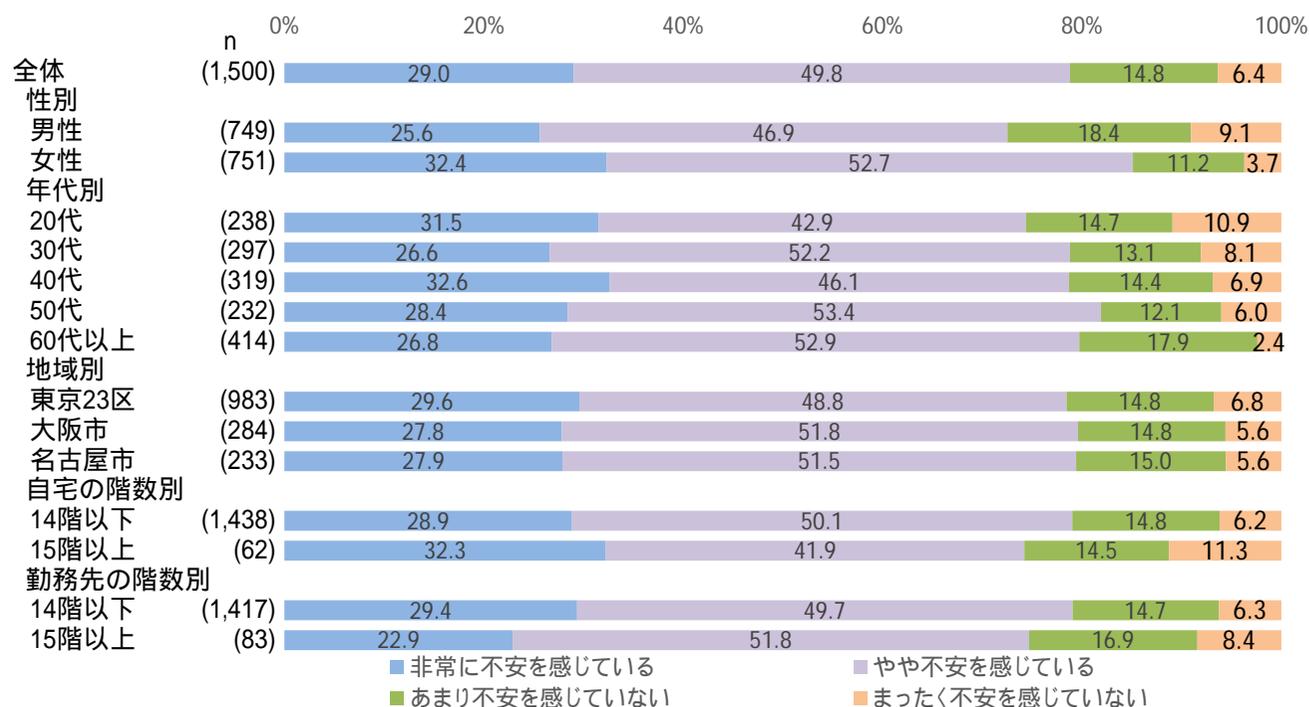


【地震などに対する意識について】

〔地震が引き起こす被害等に対する不安〕

(性別 / 年代別 / 地域別 / 自宅の階数別 / 勤務先の階数別)

- 男女別にみると、女性で不安を感じている人は8割台半ば(85.1%)となっており、男性よりも13ポイント高くなっている。

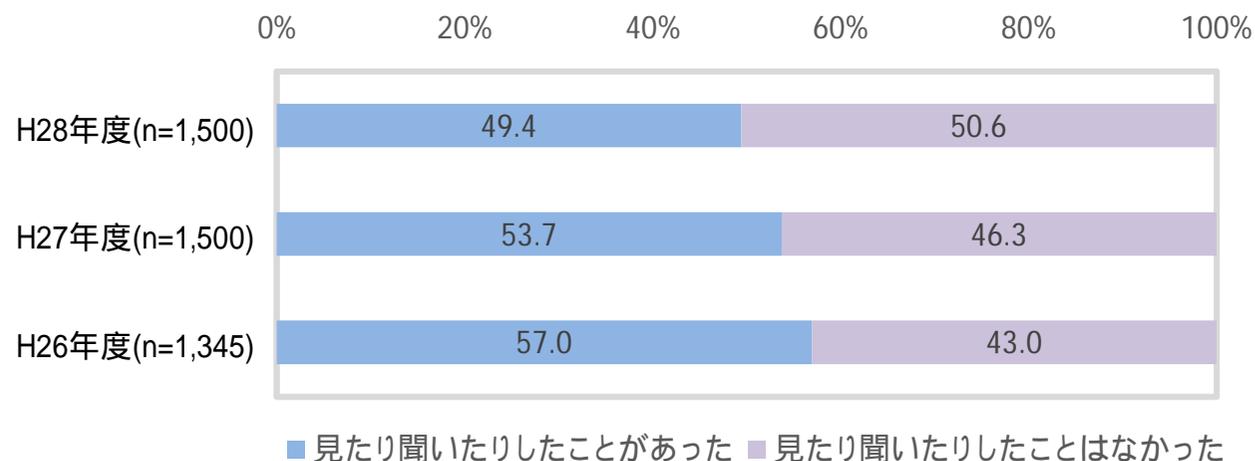


【長周期地震動について】

〔長周期地震動という言葉の認知度〕

- 長周期地震動という言葉の認知について、「見たり聞いたりしたことがあった」と回答した人の割合は5割弱(49.4%)となっており、H26年度、27年度調査と比較すると、わずかに下降傾向となっている。
- H27年度調査では「見たり聞いたりしたことがあった」と回答した人の割合は5割台半ば(53.7%)となっている。

【Q4】あなたは、このアンケートの前から長周期地震動という言葉を見たり聞いたりしたことはありましたか。



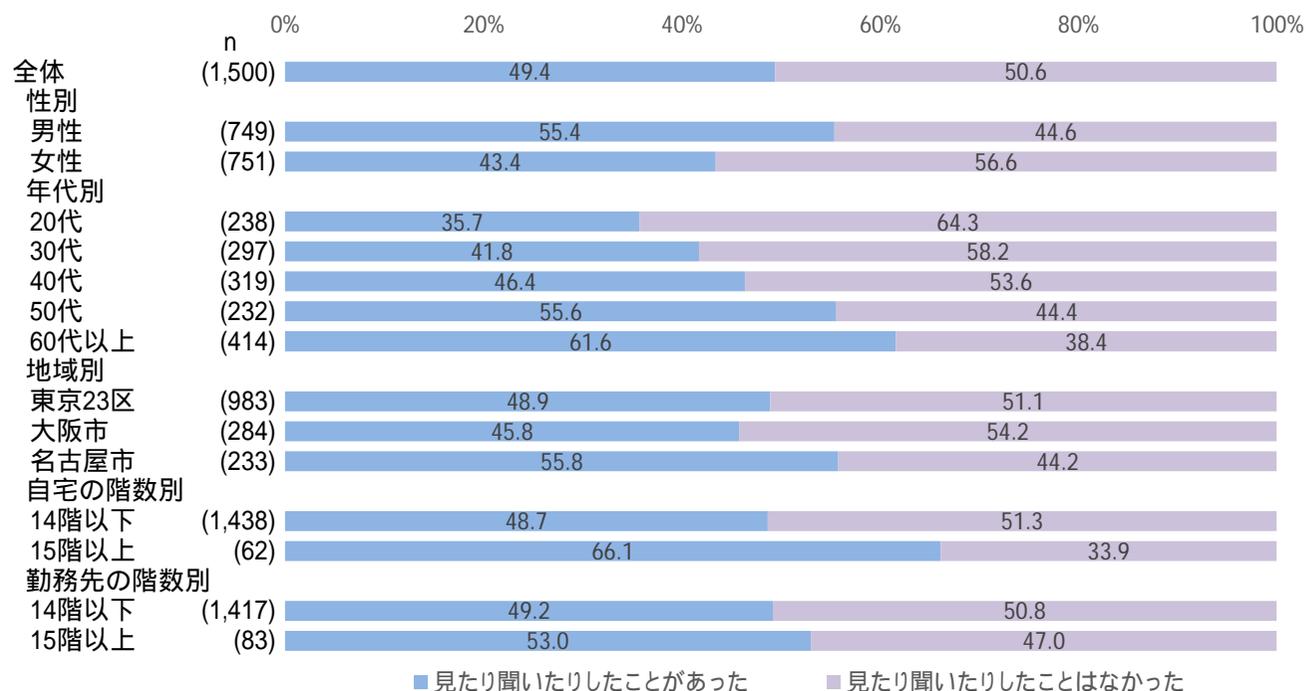
H26年度調査は参考値

【長周期地震動について】

〔長周期地震動という言葉の認知度〕

(性別 / 年代別 / 地域別 / 自宅の階数別 / 勤務先の階数別)

- 男女別にみると、男性では「見たり聞いたりしたことがあった」と回答した人の割合が5割台半ば(55.4%)となっており、女性に比べ12ポイント高くなっている。
- 年代別にみると、高齢層ほど「見たり聞いたりしたことがあった」と回答した人の割合が高くなっている。
- 地域別にみると、名古屋市では「見たり聞いたりしたことがあった」と回答した人の割合は5割台半ば(55.8%)となっており、他地域に比べ高くなっている。
- 自宅の階数別にみると、15階以上に居住している人では「見たり聞いたりしたことがあった」と回答した人の割合が6割台半ば(66.1%)となっており、14階以下に居住している人に比べ17ポイント高くなっている。



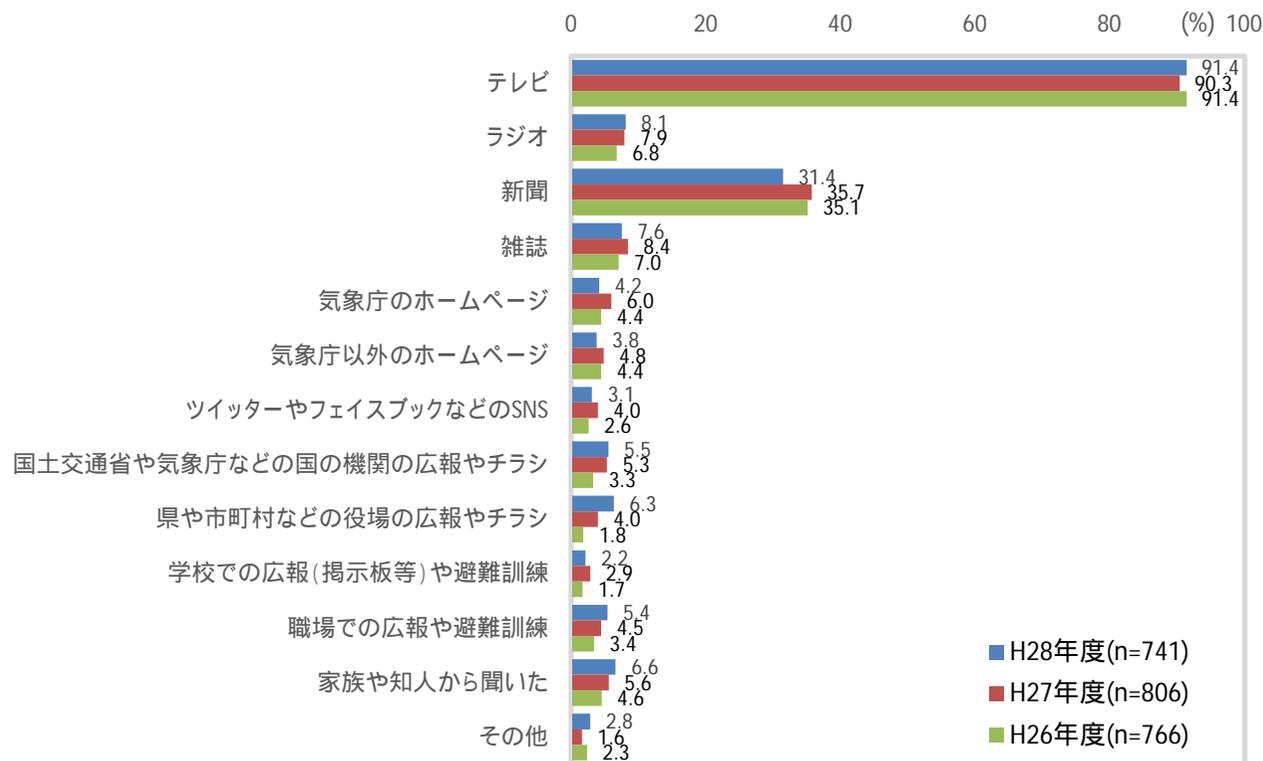
【長周期地震動について】

〔長周期地震動という言葉の認知経路〕

- 長周期地震動の認知経路について、「テレビ」と回答した人の割合が9割強(91.4%)で最も高く、次いで「新聞」が3割強(31.4%)となっている。
- H27年度調査と比較すると、傾向に大きな差はみられない。

【Q5】長周期地震動という言葉をはなで見たり聞いたりしましたか。(いくつでも)

ベース:長周期地震動を見聞きしたことがある人



H26年度調査は参考値

【長周期地震動について】

〔長周期地震動という言葉の認知経路〕

(性別 / 年代別 / 地域別 / 自宅の階数別 / 勤務先の階数別)

- 男女別にみると、男性では「新聞」と回答した人の割合が3割台半ば(36.1%)となっており、女性に比べ11ポイント高くなっている。
- 年代別にみると、高齢層ほど「新聞」と回答した人の割合が高くなっている。
- 自宅の階数別にみると、15階以上に居住している人では「ラジオ」「気象庁のホームページ」と回答した人の割合が、14階以下に居住している人に比べ11～12ポイント高くなっている。
- 勤務先の階数別にみると、15階以上に就業している人では「新聞」「気象庁のホームページ」と回答した人の割合が、14階以下に就業している人に比べ10ポイント高くなっている。

* は全体 + 10ポイント以上、 は + 5ポイント以上、 は - 10ポイント以下、 は - 5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

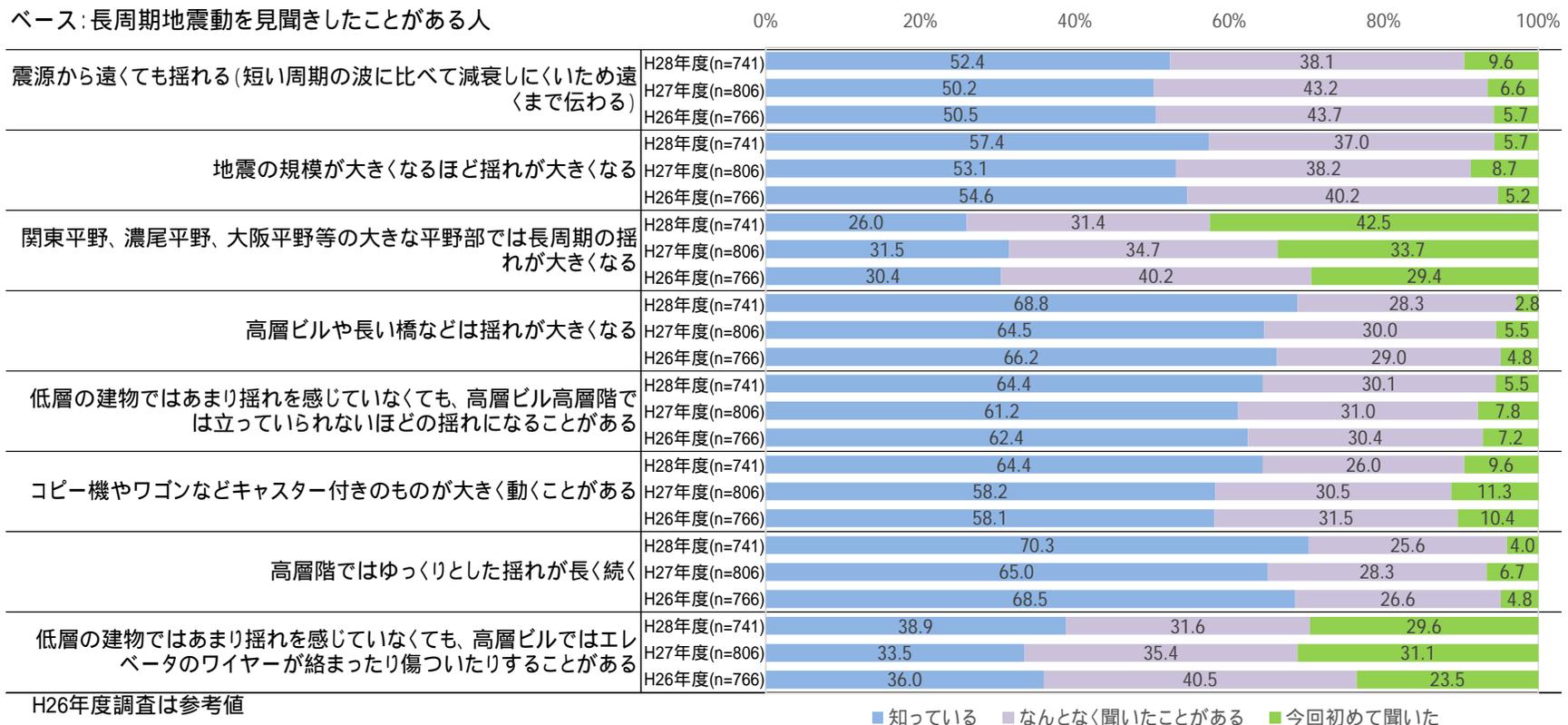
		n	テレビ	ラジオ	新聞	雑誌	気象庁のホームページ	気象庁以外のホームページ	ツイッターなどのSNS	国土交通省や気象庁などの機関の広報やチャット	県や市町村などの広報やチラシ	学校での広報(掲示)や避難訓練	職場での広報や避難訓練	家族や知人から聞いた	その他
全体		741	91.4	8.1	31.4	7.6	4.2	3.8	3.1	5.5	6.3	2.2	5.4	6.6	2.8
性別	男性	415	90.8	9.9	36.1	10.4	5.5	5.1	2.4	5.8	5.5	1.0	5.3	4.6	3.9
	女性	326	92.0	5.8	25.5	4.0	2.5	2.1	4.0	5.2	7.4	3.7	5.5	9.2	1.5
年代別	20代	85	85.9	7.1	12.9	4.7	4.7	2.4	8.2	8.2	4.7	1.2	7.1	11.8	4.7
	30代	124	90.3	6.5	25.8	11.3	7.3	7.3	3.2	2.4	2.4	2.4	6.5	4.8	1.6
	40代	148	90.5	7.4	26.4	6.8	2.0	2.0	4.1	5.4	4.1	4.7	4.7	8.1	3.4
	50代	129	92.2	9.3	33.3	6.2	3.9	7.0	1.6	4.7	6.2	0.8	7.8	3.1	3.1
	60代以上	255	93.7	9.0	42.4	7.8	3.9	2.0	1.6	6.7	10.2	1.6	3.5	6.7	2.4
地域別	東京23区	481	92.3	7.1	29.5	8.7	5.2	4.0	2.9	5.8	5.8	1.2	5.6	6.7	2.9
	大阪市	130	90.8	9.2	38.5	4.6	1.5	3.1	4.6	5.4	6.9	6.2	5.4	9.2	1.5
	名古屋市	130	88.5	10.8	31.5	6.2	3.1	3.8	2.3	4.6	7.7	1.5	4.6	3.8	3.8
自宅の階数別	14階以下	700	91.4	7.4	31.1	7.4	3.6	3.6	3.1	5.4	6.3	2.3	5.4	6.6	3.0
	15階以上	41	90.2	19.5	36.6	9.8	14.6	7.3	2.4	7.3	7.3	0.0	4.9	7.3	0.0
勤務先の階数別	14階以下	697	91.2	7.9	30.8	7.0	3.6	3.3	3.2	5.3	6.0	2.3	5.0	6.5	3.0
	15階以上	44	93.2	11.4	40.9	15.9	13.6	11.4	2.3	9.1	11.4	0.0	11.4	9.1	0.0

【長周期地震動について】

〔長周期地震動の内容理解度〕

- 長周期地震動の内容理解について、6割以上の人知っているもの(「高層ビルや長い橋などは揺れが大きくなる」、「低層の建物ではあまり揺れを感じていなくても、高層ビル高層階では立ってられないほどの揺れになることがある」、「コピー機やワゴンなどキャスター付きのものが大きく動くことがある」、「高層階ではゆっくりとした揺れが長く続く」と)、3割程度の人にしか知られていないもの(「関東平野、濃尾平野、大阪平野等の大きな平野部では長周期の揺れが大きくなる」、「低層の建物ではあまり揺れを感じていなくても、高層ビルではエレベーターのワイヤーが絡まったり傷ついたりすることがある」と)がある。
- H27年度調査と比較すると、傾向に大きな差はみられない。

【Q6】長周期地震動について、以下の内容をご存知ですか。



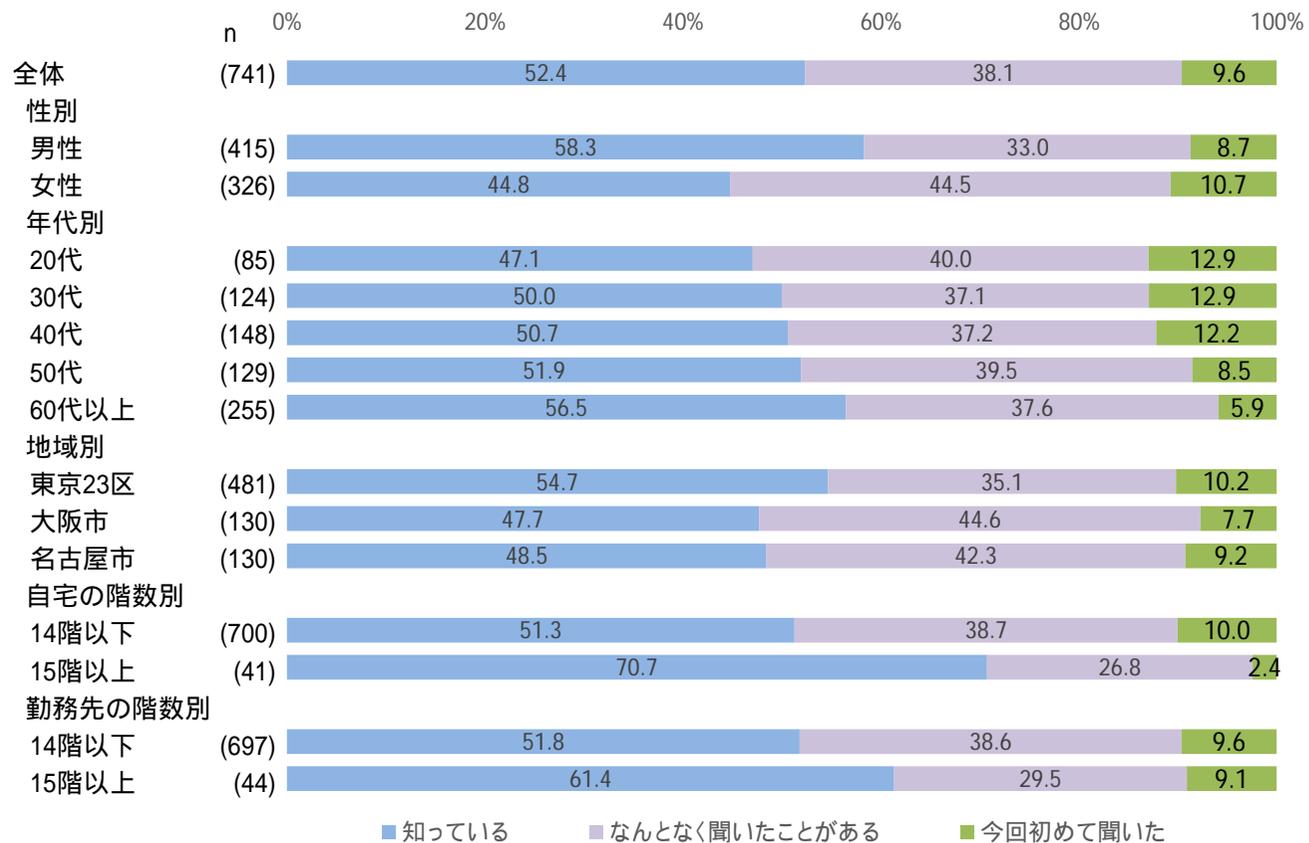
【長周期地震動について】

〔長周期地震動の内容理解度〕

震源から遠くても揺れる(短い周期の波に比べて減衰しにくいいため遠くまで伝わる)

(性別 / 年代別 / 地域別 / 自宅の階数別 / 勤務先の階数別)

ベース: 長周期地震動を見聞きしたことがある人



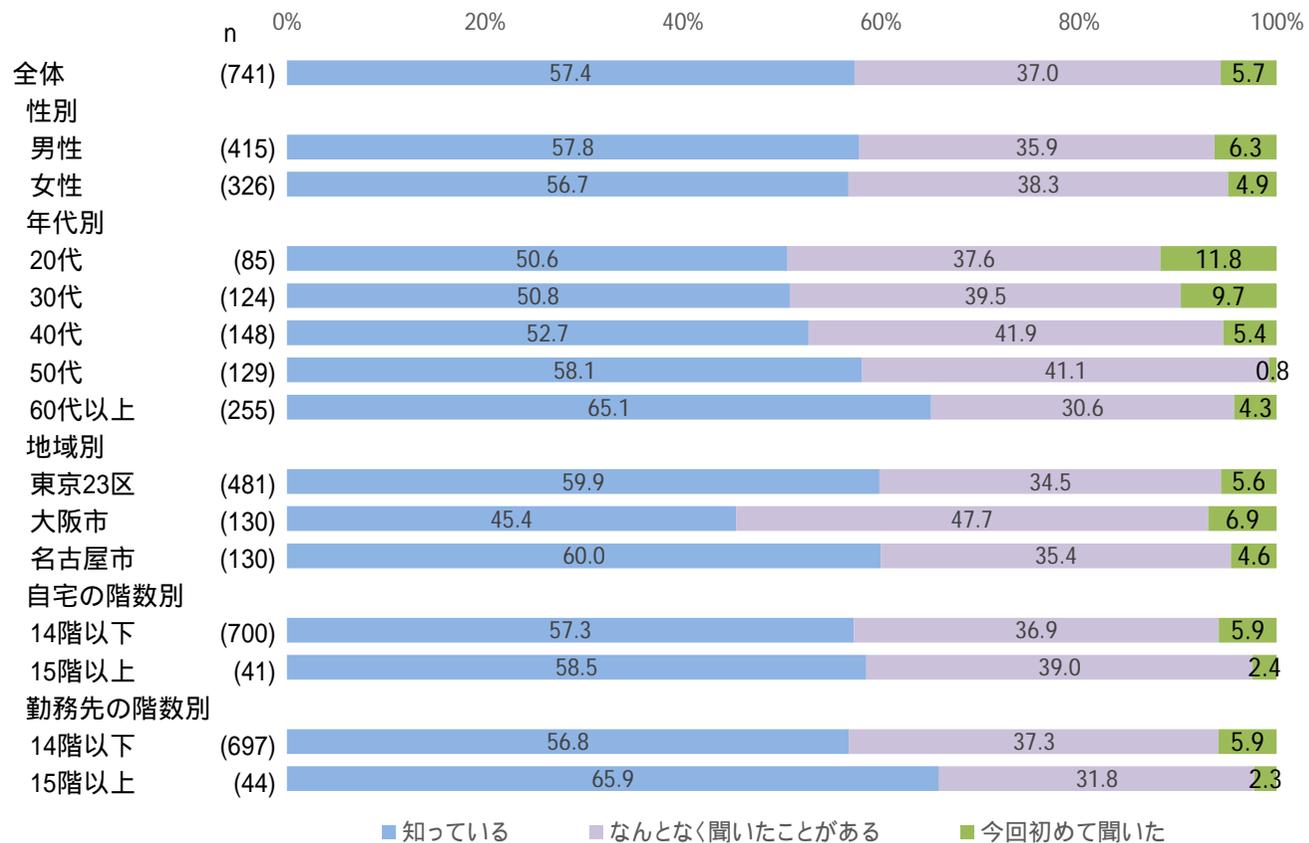
【長周期地震動について】

〔長周期地震動の内容理解度〕

地震の規模が大きくなるほど揺れが大きくなる

(性別 / 年代別 / 地域別 / 自宅の階数別 / 勤務先の階数別)

ベース: 長周期地震動を見聞きしたことがある人



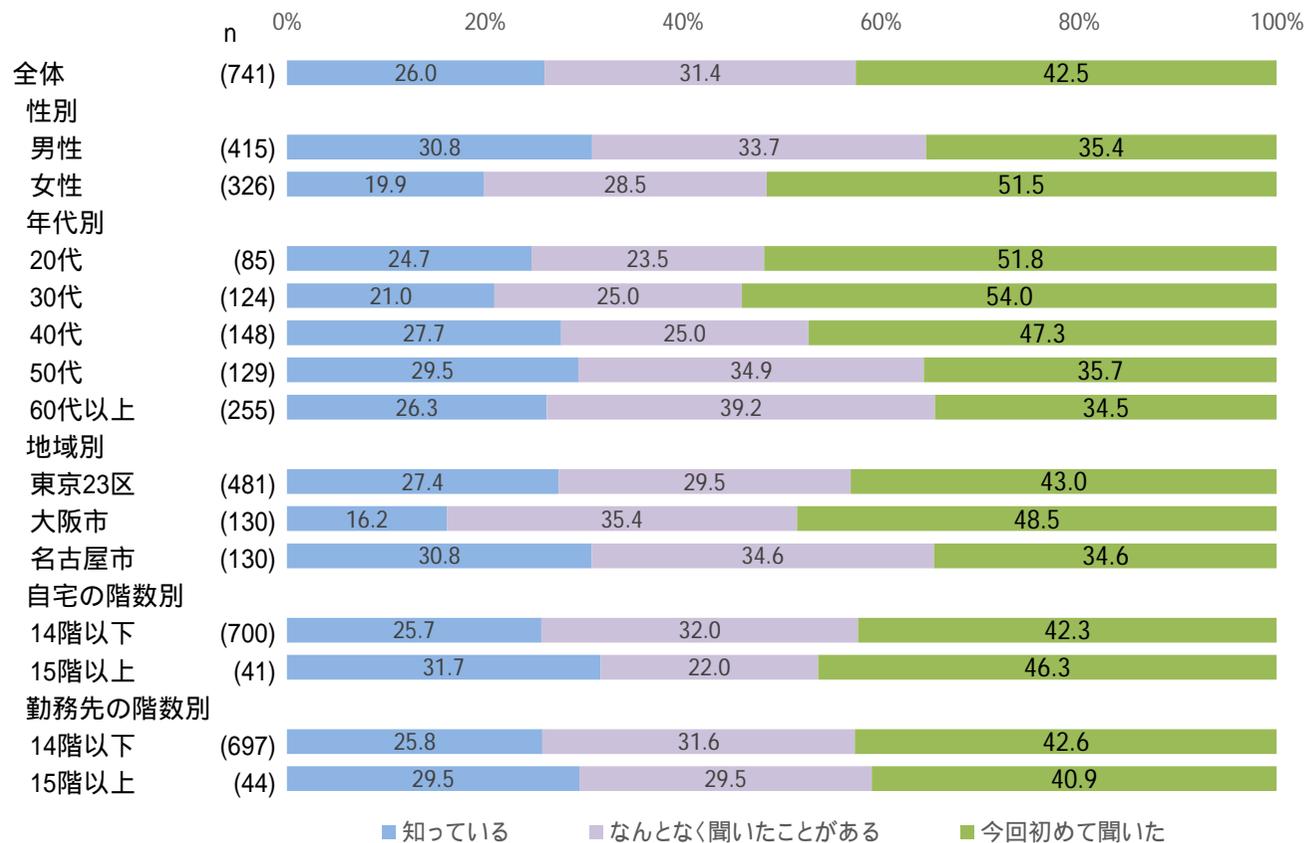
【長周期地震動について】

〔長周期地震動の内容理解度〕

関東平野、濃尾平野、大阪平野等の大きな平野部では長周期の揺れが大きくなる

(性別 / 年代別 / 地域別 / 自宅の階数別 / 勤務先の階数別)

ベース: 長周期地震動を見聞きしたことがある人



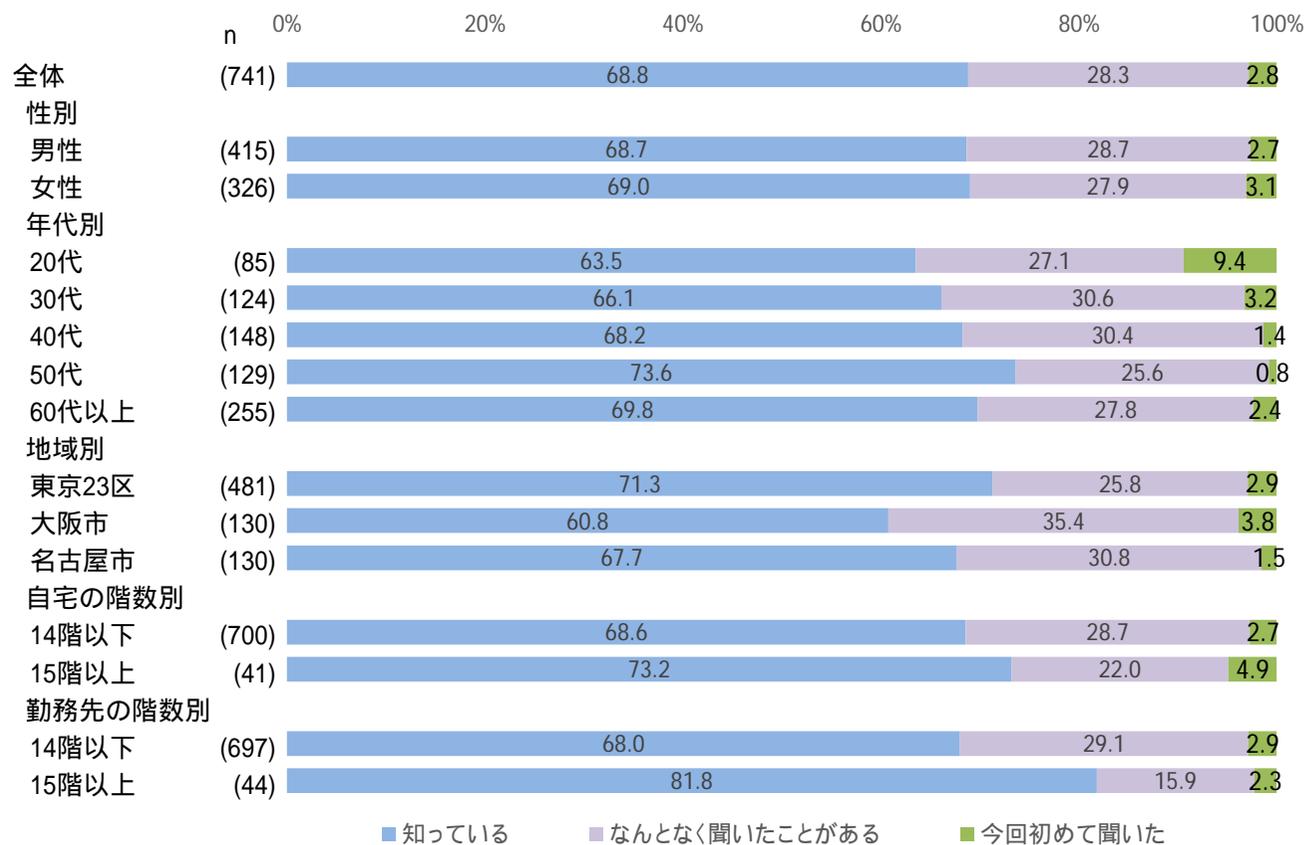
【長周期地震動について】

〔長周期地震動の内容理解度〕

高層ビルや長い橋などは揺れが大きくなる

(性別 / 年代別 / 地域別 / 自宅の階数別 / 勤務先の階数別)

ベース: 長周期地震動を見聞きしたことがある人



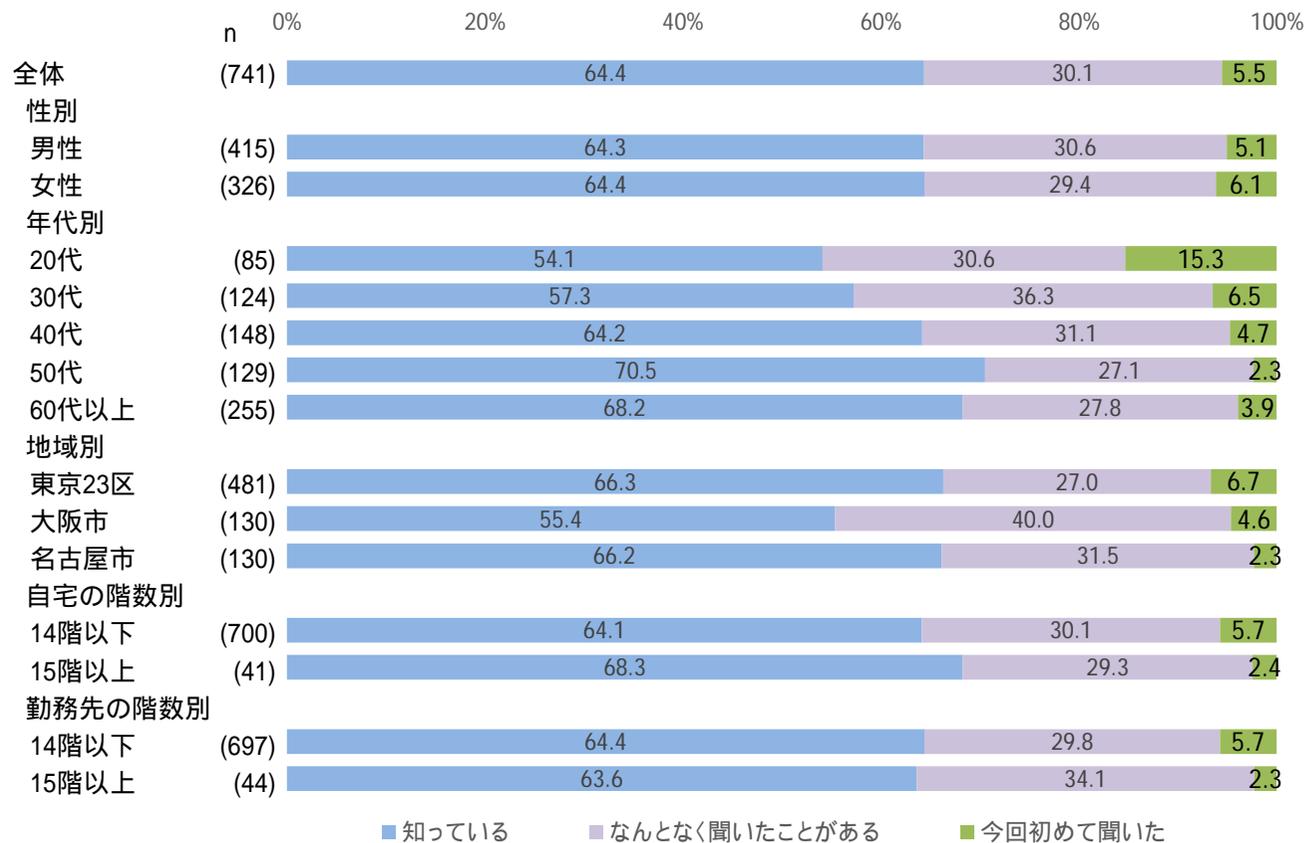
【長周期地震動について】

〔長周期地震動の内容理解度〕

低層の建物ではあまり揺れを感じていなくても、高層ビル高層階では立ってられないほどの揺れになることがある

(性別 / 年代別 / 地域別 / 自宅の階数別 / 勤務先の階数別)

ベース: 長周期地震動を見聞きしたことがある人



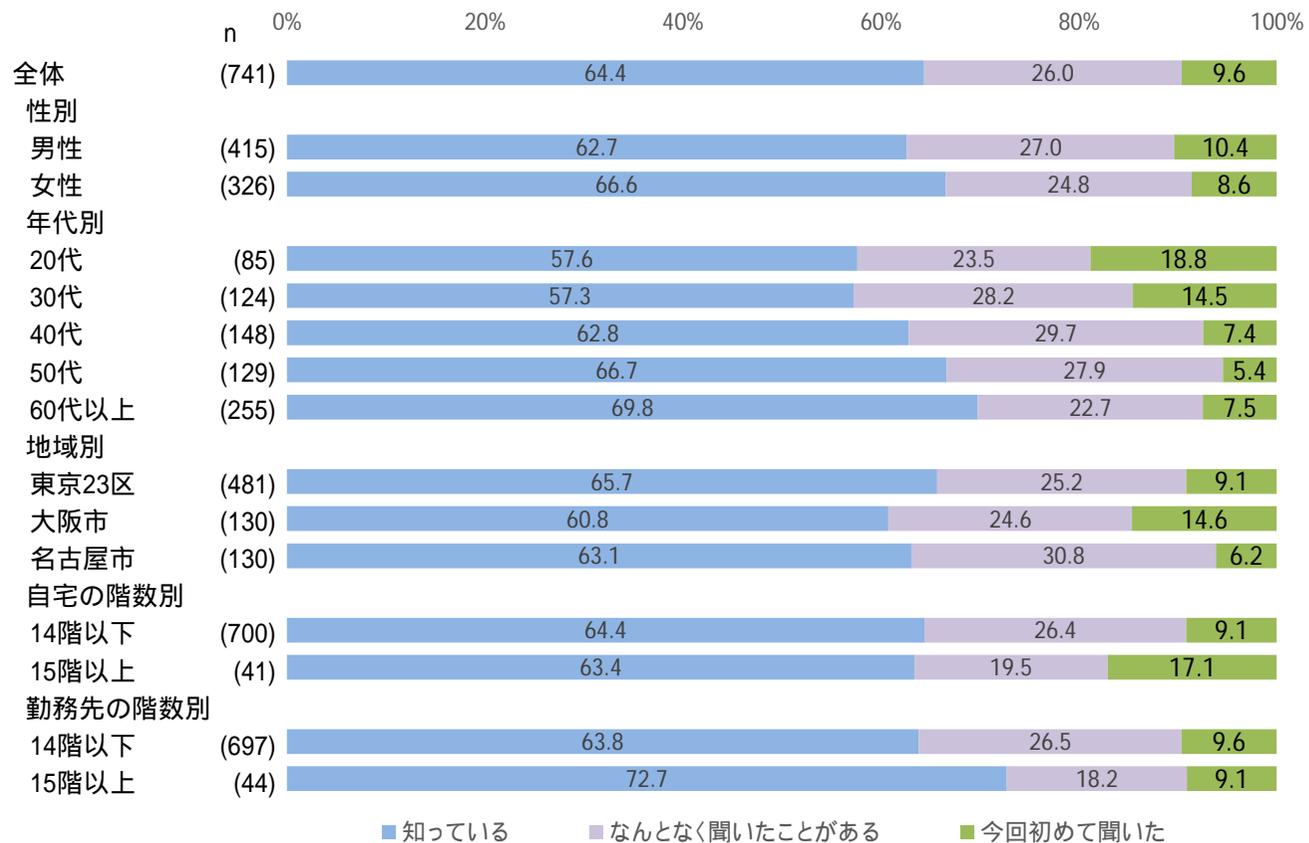
【長周期地震動について】

〔長周期地震動の内容理解度〕

コピー機やワゴンなどキャスター付きのものが大きく動くことがある

(性別 / 年代別 / 地域別 / 自宅の階数別 / 勤務先の階数別)

ベース: 長周期地震動を見聞きしたことがある人



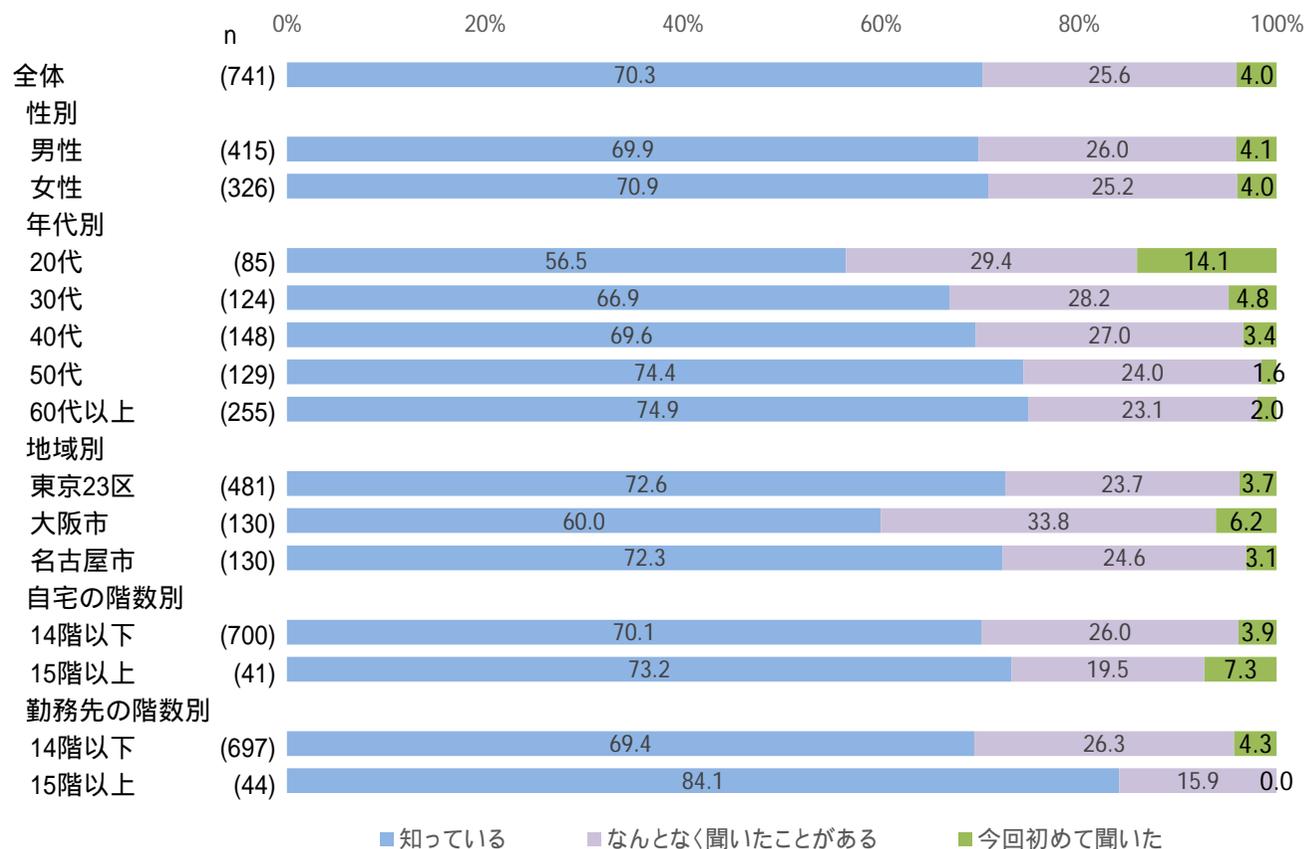
【長周期地震動について】

〔長周期地震動の内容理解度〕

高層階ではゆっくりとした揺れが長く続く

(性別 / 年代別 / 地域別 / 自宅の階数別 / 勤務先の階数別)

ベース: 長周期地震動を見聞きしたことがある人



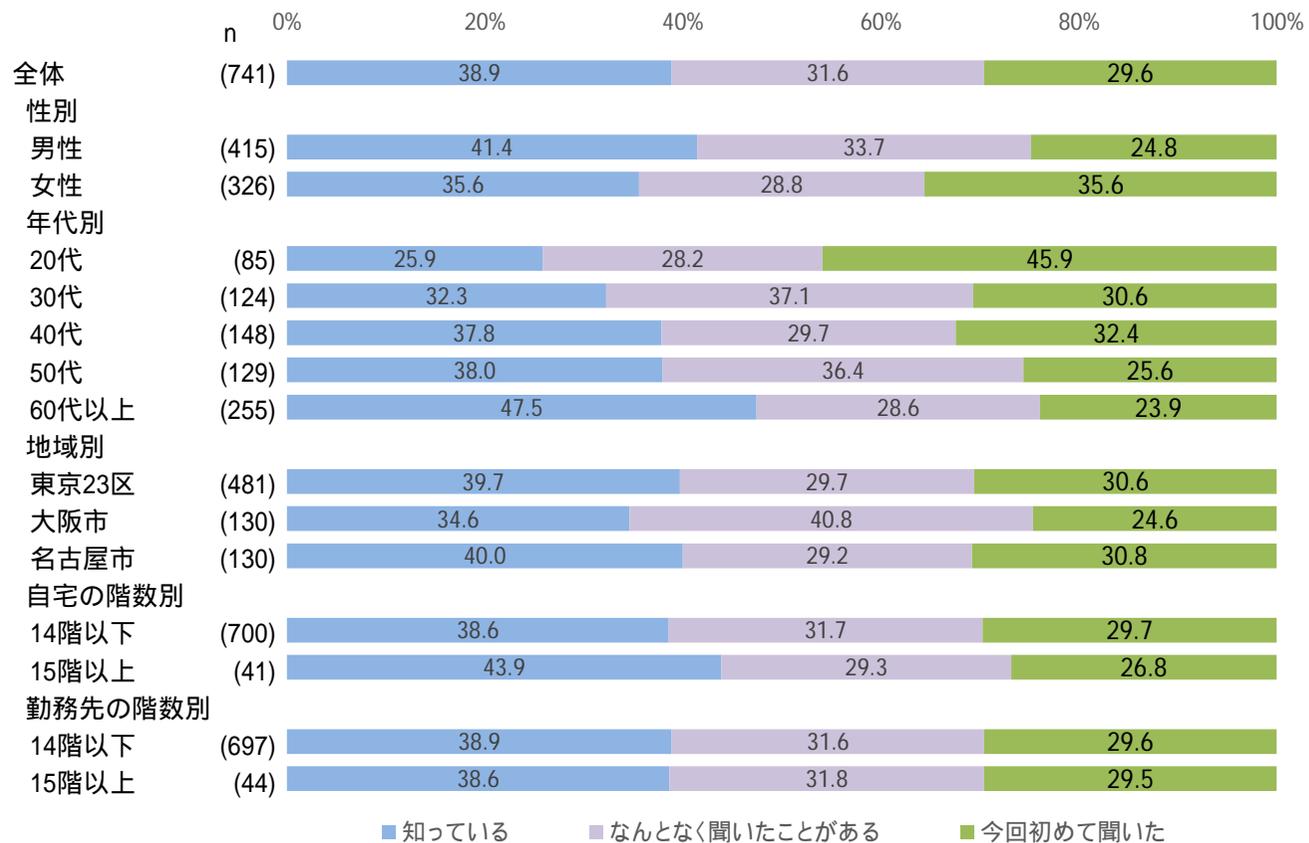
【長周期地震動について】

〔長周期地震動の内容理解度〕

低層の建物ではあまり揺れを感じていなくても、高層ビルではエレベータのワイヤーが絡まったり傷ついたりすることがある

(性別 / 年代別 / 地域別 / 自宅の階数別 / 勤務先の階数別)

ベース: 長周期地震動を見聞きしたことがある人

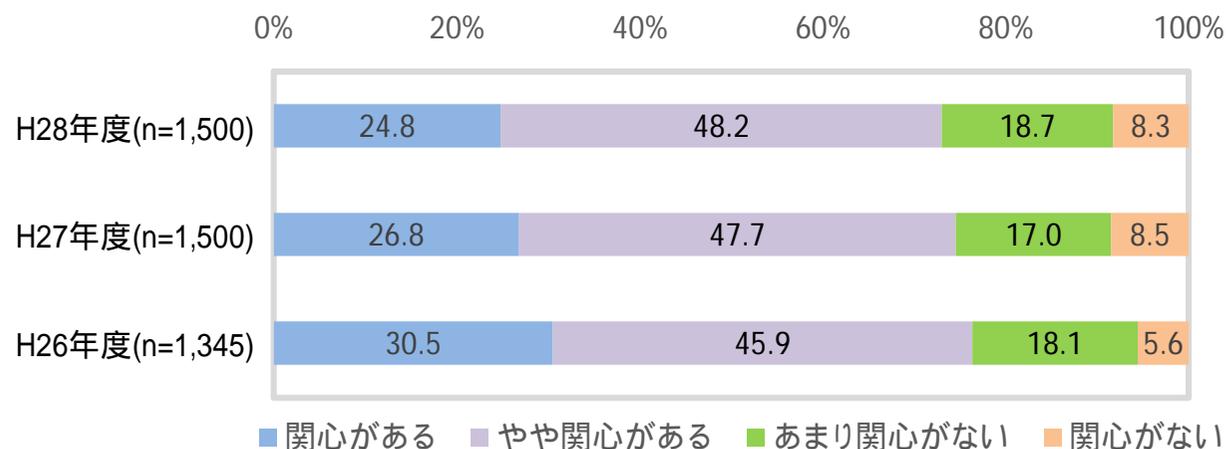


【長周期地震動について】

〔長周期地震動に対する関心度〕

- 長周期地震動に対する関心について、「関心がある」と回答した人の割合は2割台半ば(24.8%)、「やや関心がある」と回答した人は5割弱(48.2%)となっており、関心があると回答した人の割合(関心度)は7割強(73.0%)となっている。
- H26年度、27年度調査と比較すると、わずかに下降傾向となっている。

【Q7】あなたは、「高層ビルが大きく長く揺れることで、室内の家具などが移動・転倒すること」や、「高層ビルの高層階では、地上や低層階に比べて揺れがより大きく長くなること」などを引きおこす長周期地震動について関心がありますか。



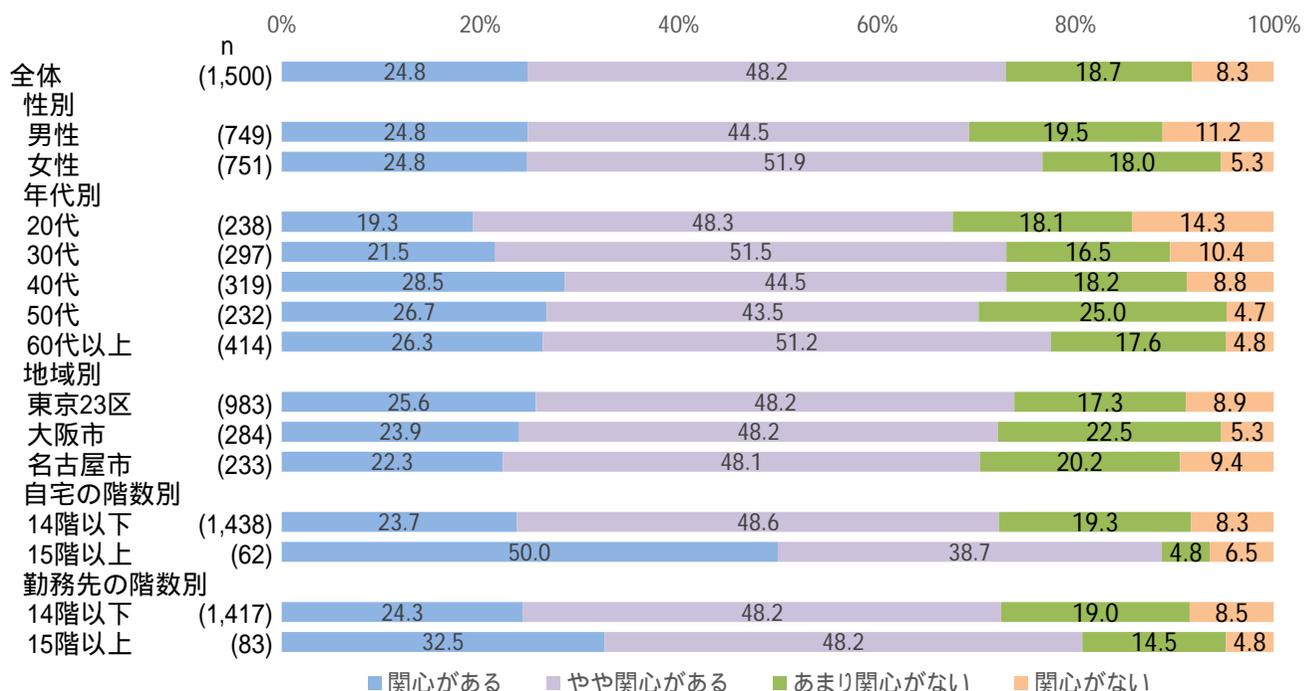
H26年度調査は参考値

【長周期地震動について】

〔長周期地震動に対する関心度〕

(性別 / 年代別 / 地域別 / 自宅の階数別 / 勤務先の階数別)

- 年代別にみると、40代以上では「関心がある」と回答した人の割合は30代以下に比べ高くなっている。
- 自宅の階数別にみると、15階以上に居住している人では「関心がある」と回答した人の割合は5割(50.0%)となっており、14階以下に居住している人に比べ26ポイント高くなっている。
- 勤務先の階数別にみると、15階以上に就業している人では「関心がある」と回答した人の割合は3割強(32.5%)となっており、14階以下に就業している人に比べ8ポイント高くなっている。



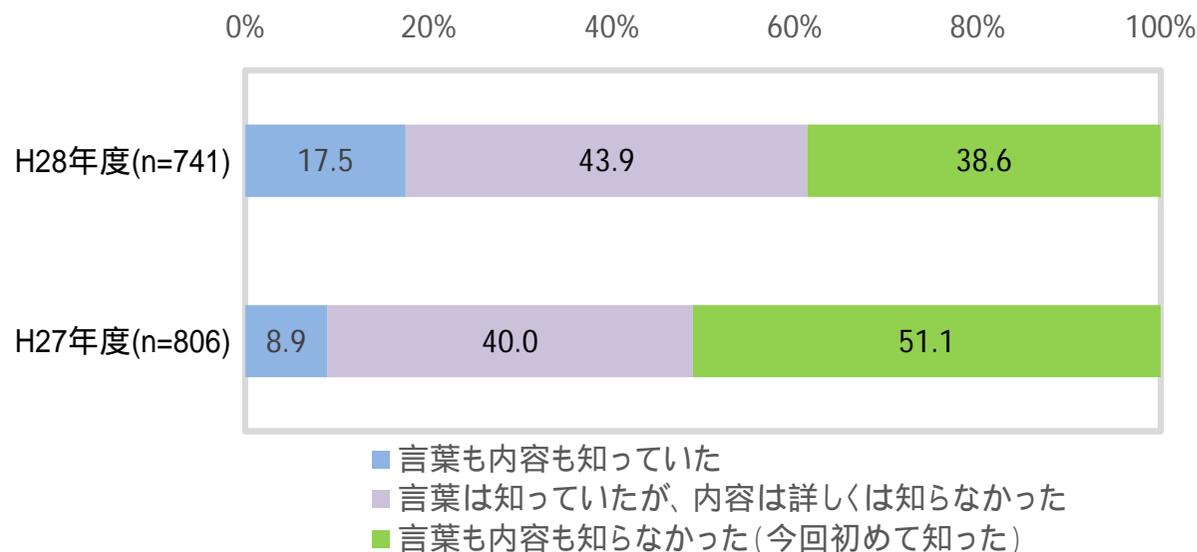
【長周期地震動に関する情報について】

〔長周期地震動階級という言葉の認知度〕

- 長周期地震動階級の認知について、「言葉も内容も知っていた」と回答した人の割合は2割弱(17.5%)、「言葉は知っていたが、内容は詳しくは知らなかった」と回答した人の割合は4割台半ば(43.9%)となっており、言葉を知っていると回答した人の割合(認知度)は6割強(61.4%)となっている。
- H27年度調査では認知度は5割弱(48.9%)となっており、上昇傾向となっている。

【Q8】あなたは、このアンケートの前から震度とは別の長周期地震動による揺れの指標である「長周期地震動階級」を知っていましたか。

ベース：長周期地震動を見聞きしたことがある人

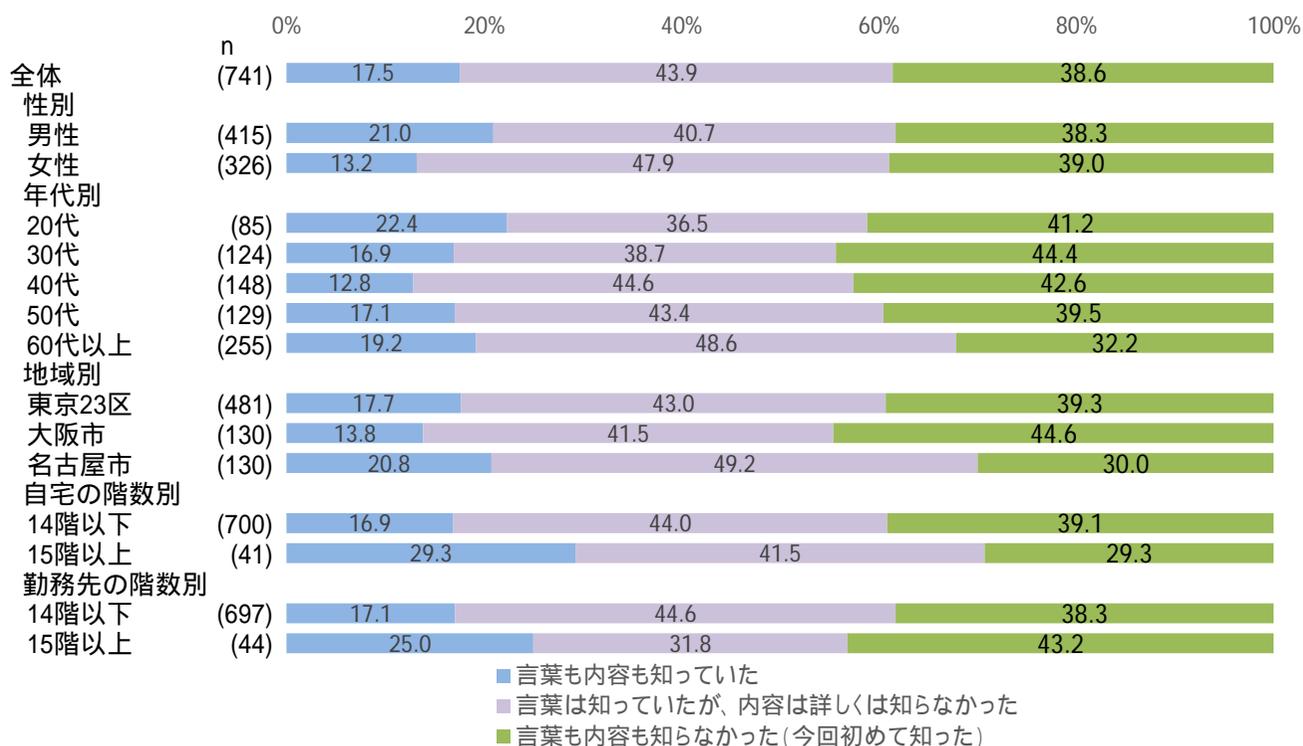


【長周期地震動に関する情報について】

〔長周期地震動階級という言葉の認知度〕

(性別 / 年代別 / 地域別 / 自宅の階数別 / 勤務先の階数別)

- 年代別にみると、60代以上で「言葉も内容も知っていた」「言葉は知っていたが、内容は詳しくは知らなかった」と回答した言葉の認知者の割合が7割弱(67.8%)となっており、他年代に比べ高くなっている。
- 地域別にみると、名古屋市では「言葉も内容も知っていた」「言葉は知っていたが、内容は詳しくは知らなかった」と回答した言葉の認知者の割合が7割(70.0%)となっており、他地域に比べ高くなっている。
- 自宅の階数別にみると、15階以上に居住している人では「言葉も内容も知っていた」「言葉は知っていたが、内容は詳しくは知らなかった」を合わせた言葉の認知者の割合が約7割(70.8%)となっており、14階以下に居住している人に比べ10ポイント高くなっている。

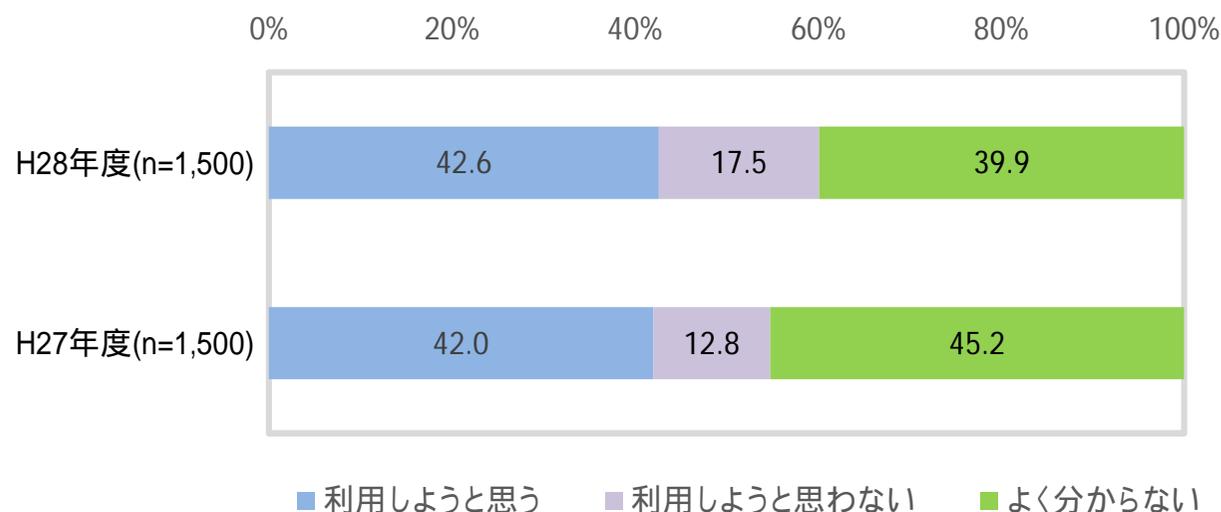


【長周期地震動に関する情報について】

〔長周期地震動に関する観測情報の利用意向〕

- 長周期地震動に関する観測情報の利用について、「利用しようと思う」と回答した人の割合は4割強(42.6%)となっている。
- H27年度調査では「利用しようと思う」と回答した人の割合は4割強(42.0%)となっており、横ばい傾向となっている。

【Q9】あなたは「長周期地震動に関する観測情報」を利用しようと思いますか。



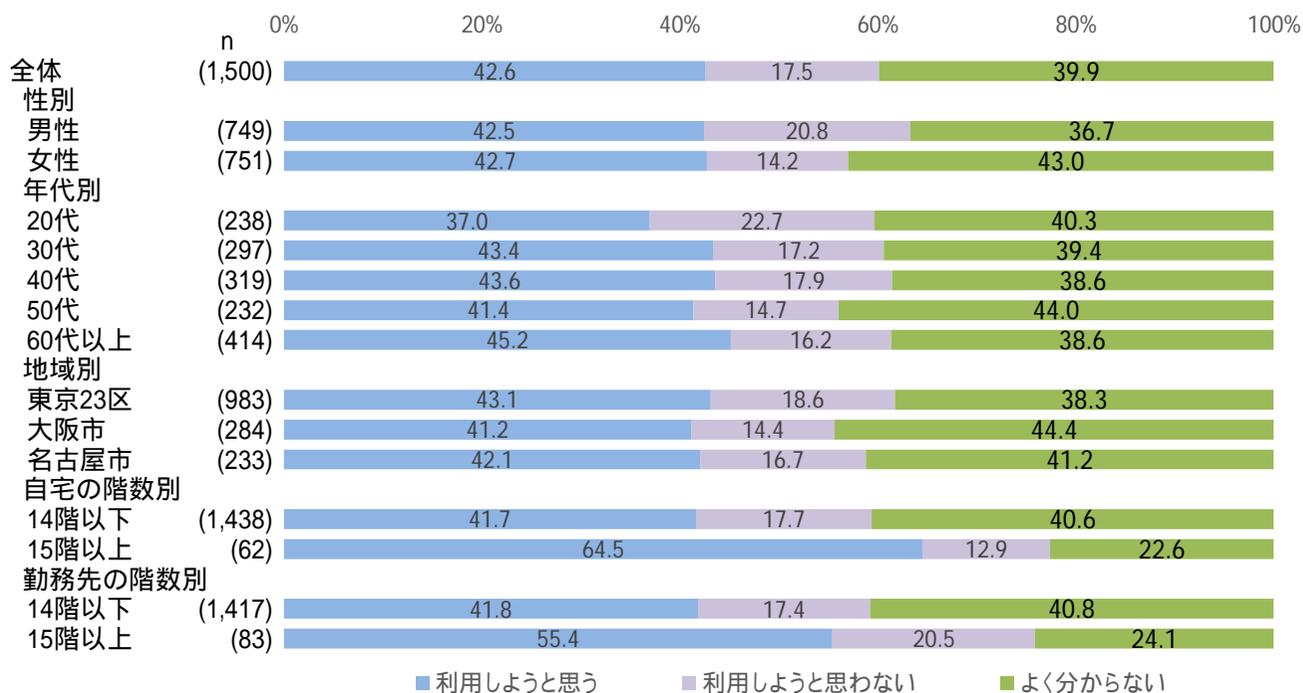
H27年度調査は「利用する」ではなく「活用する」という言葉を用いて実施した。

【長周期地震動に関する情報について】

〔長周期地震動に関する観測情報の利用意向〕

(性別 / 年代別 / 地域別 / 自宅の階数別 / 勤務先の階数別)

- 自宅の階数別にみると、15階以上に居住している人では「利用しようと思う」と回答した人の割合が6割台半ば(64.5%)となっており、14階以下に居住している人に比べ23ポイント高くなっている。
- 勤務先の階数別にみると、15階以上に就業している人では「利用しようと思う」と回答した人の割合は5割台半ば(55.4%)となっており、14階以下に就業している人に比べ14ポイント高くなっている。



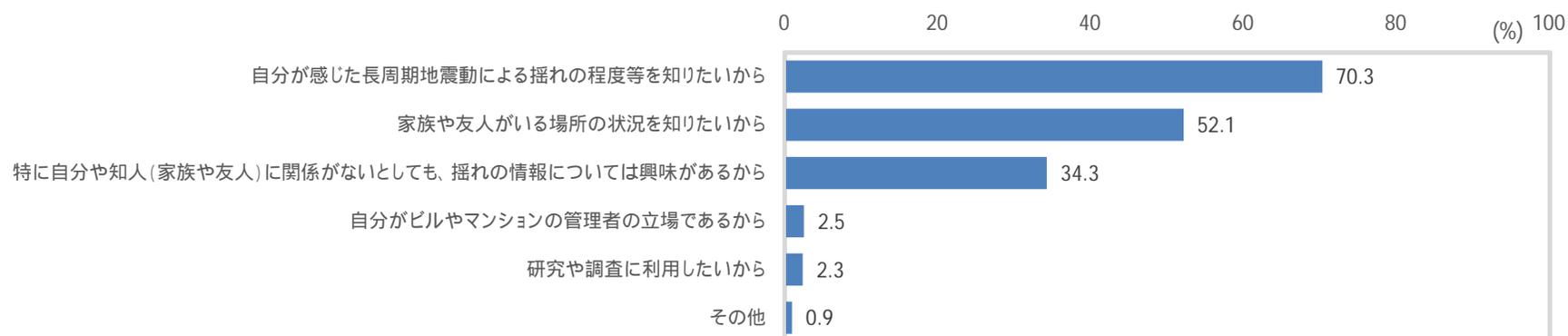
【長周期地震動に関する情報について】

〔長周期地震動に関する観測情報を利用したいと思う理由〕

- 長周期地震動に関する観測情報を利用したいと思う理由について、「自分が感じた長周期地震動による揺れの程度等を知りたいから」が約7割(70.3%)で最も高く、次いで「家族や友人がいる場所の状況を知りたいから」が5割強(52.1%)、「特に自分や知人(家族や友人)に関係がないとしても、揺れの情報については興味があるから」が3割台半ば(34.3%)となっている。

【Q10】「長周期地震動に関する観測情報」を利用しようと思う理由は何ですか。(いくつでも)

n=639 ベース:「長周期地震動に関する観測情報」を利用しようと思う人



【長周期地震動に関する情報について】

〔長周期地震動に関する観測情報を利用したいと思う理由〕

(性別 / 年代別 / 地域別 / 自宅の階数別 / 勤務先の階数別)

- 年代別にみると、20代では「自分が感じた長周期地震動による揺れの程度等を知りたいから」「家族や友人がいる場所の状況を知りたいから」、60代以上では「特に自分や知人(家族や友人)に関係がないとしても、揺れの情報については興味があるから」が他年代に比べ高くなっている。
- 地域別にみると、大阪市、名古屋市では「家族や友人がいる場所の状況を知りたいから」が東京23区に比べ12ポイント高くなっている。
- 自宅の階数別、勤務先の階数別のいずれにおいても、15階以上で居住・就業している人では「自分が感じた長周期地震動による揺れの程度等を知りたいから」が14階以下で居住・就業している人に比べ13～16ポイント高くなっている。

* は全体 + 10ポイント以上、 は + 5ポイント以上、 は - 10ポイント以下、 は - 5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

(%)

		n	自分が感じた揺れの程度	家族や知人がいる場所	自分や知人(家族)に関係がないとしても、興味があるから	自分が感じた揺れの程度等を知りたいから	家族や友人がいる場所の状況を知りたいから	その他
全体		639	70.3	52.1	34.3	2.5	2.3	0.9
性別	男性	318	70.8	50.9	33.3	4.1	4.4	1.3
	女性	321	69.8	53.3	35.2	0.9	0.3	0.6
年代別	20代	88	76.1	61.4	33.0	4.5	2.3	1.1
	30代	129	73.6	56.6	33.3	2.3	1.6	0.0
	40代	139	71.2	48.9	28.8	2.2	2.9	2.2
	50代	96	71.9	44.8	29.2	1.0	2.1	0.0
	60代以上	187	63.6	50.8	42.2	2.7	2.7	1.1
地域別	東京23区	424	71.0	48.1	35.6	2.4	1.9	1.4
	大阪市	117	66.7	59.8	32.5	3.4	1.7	0.0
	名古屋市	98	71.4	60.2	30.6	2.0	5.1	0.0
自宅の階数別	14階以下	599	69.4	53.1	35.6	2.5	2.5	0.8
	15階以上	40	82.5	37.5	15.0	2.5	0.0	2.5
勤務先の階数別	14階以下	593	69.1	52.1	35.4	2.5	2.5	0.8
	15階以上	46	84.8	52.2	19.6	2.2	0.0	2.2

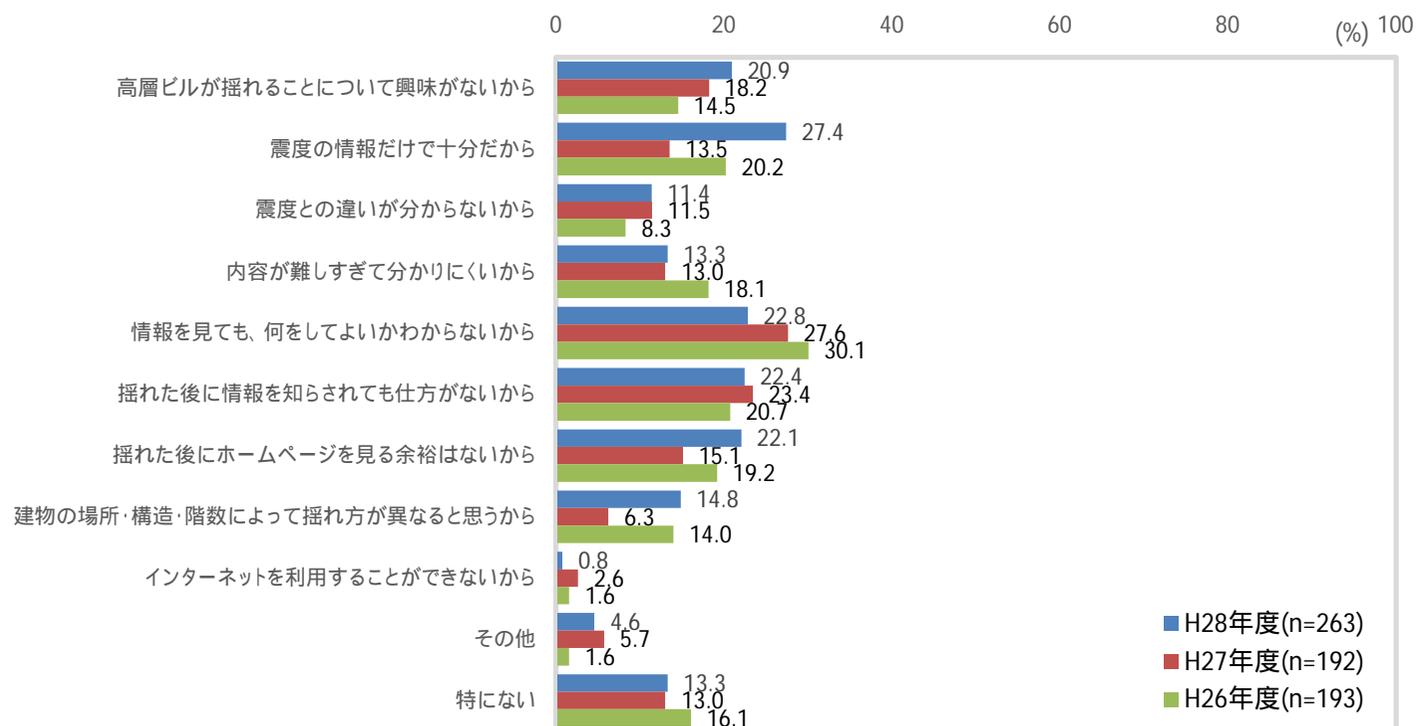
【長周期地震動に関する情報について】

〔長周期地震動に関する観測情報を利用したいと思わない理由〕

- 長周期地震動に関する観測情報を利用したいと思わない理由について、「震度の情報だけで十分だから」が3割弱(27.4%)で最も高く、次いで「情報を見ても、何をしてもよいかわからないから」が2割強(22.8%)、「揺れた後に情報を知らされても仕方がないから」が2割強(22.4%)となっている。
- H27年度調査では「震度の情報だけで十分だから」と回答した人の割合は1割台半ば(13.5%)となっており、大きく上昇している。

【Q11】「長周期地震動に関する観測情報」を利用しようと思わない理由は何ですか。(いくつでも)

ベース:「長周期地震動に関する観測情報」を利用しようと思わない人



H26年度調査は参考値

H27年度調査は「利用」ではなく「活用」という言葉を用いて実施した。

【長周期地震動に関する情報について】

〔長周期地震動に関する観測情報を利用したいと思わない理由〕

(性別 / 年代別 / 地域別 / 自宅の階数別 / 勤務先の階数別)

- 男女別にみると、女性では「建物の場所・構造・階数によって揺れ方が異なると思うから」が2割台半ば(24.3%)となっており、男性に比べ16ポイント高くなっている。

* は全体 +10ポイント以上、 は +5ポイント以上、 は -10ポイント以下、 は -5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

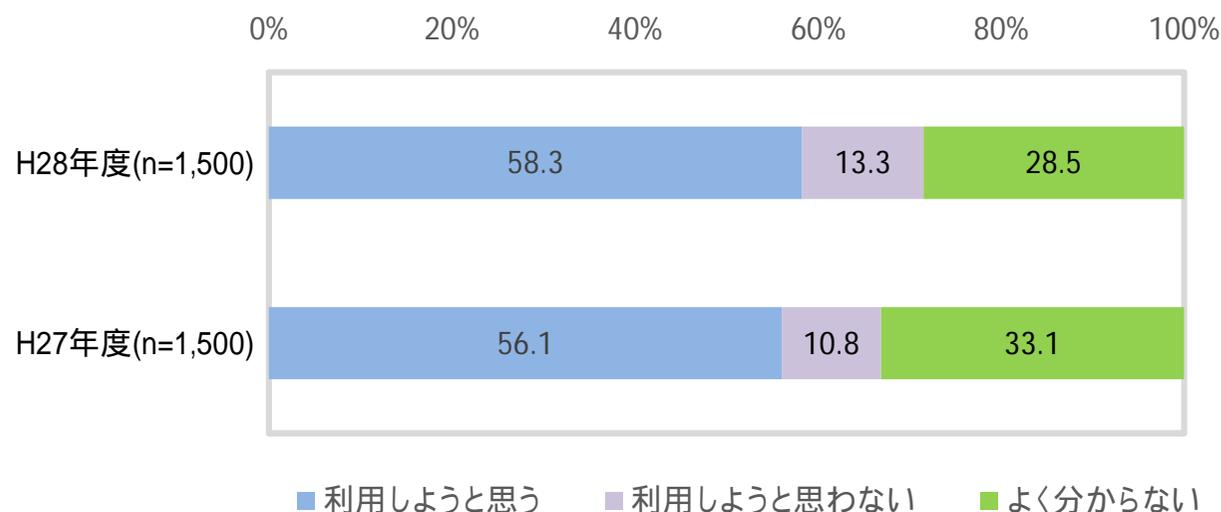
		n	らに高 つ層 いビル てルが 興が揺 れな いこ か	だ震 か度 の情 報だ けで 十分	な震 い度 か ら の 違 い が 分 か ら	内 容 が 難 し ず ぎ る か ら	らて情 よ報 いを か見 わて かも ら、 何 いを かし	らさ揺 れれた ても 後仕 に情 報が なを い知 から	らジ揺 をれた 見後 にホ ー ム か	な数建 るに物 のよの 場所 か揺 れ構 造が 異階	らすイン ター ネット を利 用か	そ の 他	特 に ない
全体		263	20.9	27.4	11.4	13.3	22.8	22.4	22.1	14.8	0.8	4.6	13.3
性別	男性	156	22.4	28.2	11.5	12.2	20.5	19.9	18.6	8.3	1.3	4.5	16.0
	女性	107	18.7	26.2	11.2	15.0	26.2	26.2	27.1	24.3	0.0	4.7	9.3
年代別	20代	54	20.4	31.5	14.8	18.5	22.2	20.4	22.2	9.3	0.0	1.9	16.7
	30代	51	27.5	29.4	15.7	13.7	21.6	21.6	19.6	13.7	2.0	2.0	13.7
	40代	57	10.5	19.3	5.3	19.3	26.3	19.3	24.6	12.3	1.8	7.0	12.3
	50代	34	26.5	17.6	11.8	2.9	26.5	26.5	20.6	11.8	0.0	5.9	14.7
	60代以上	67	22.4	34.3	10.4	9.0	19.4	25.4	22.4	23.9	0.0	6.0	10.4
地域別	東京23区	183	19.1	28.4	10.9	10.9	23.0	24.0	19.7	16.4	0.5	5.5	14.8
	大阪市	41	22.0	26.8	17.1	14.6	26.8	19.5	29.3	14.6	0.0	2.4	7.3
	名古屋市	39	28.2	23.1	7.7	23.1	17.9	17.9	25.6	7.7	2.6	2.6	12.8
自宅の階数別	14階以下	255	21.6	28.2	11.4	12.9	22.0	22.7	22.7	14.5	0.8	4.7	13.3
	15階以上	8	0.0	0.0	12.5	25.0	50.0	12.5	0.0	25.0	0.0	0.0	12.5
勤務先の階数別	14階以下	246	20.7	27.6	11.4	13.0	22.4	21.5	21.5	15.4	0.8	4.9	14.2
	15階以上	17	23.5	23.5	11.8	17.6	29.4	35.3	29.4	5.9	0.0	0.0	0.0

【長周期地震動に関する情報について】

〔長周期地震動の予測情報の利用意向〕

- 長周期地震動の予測情報の利用について、「利用しようと思う」と回答した人の割合は6割弱(58.3%)、一方「よく分からない」と回答した人の割合は3割弱(28.5%)となっている。
- H27年度調査では「利用しようと思う」と回答した人の割合は5割台半ば(56.1%)となっており、わずかに上昇傾向となっている。

【Q12】今後「長周期地震動の予測情報」が発表されるようになったとしたら、利用しようと思いますか。



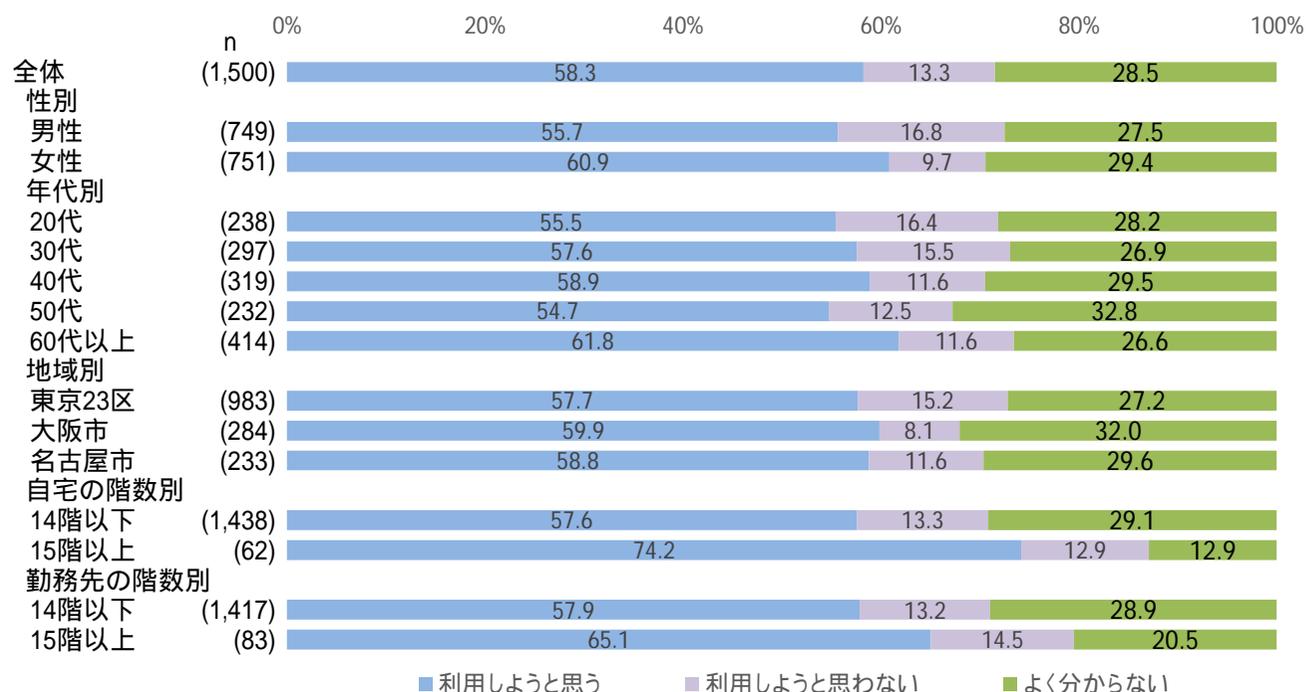
H27年度調査は「利用する」ではなく「活用する」という言葉を用いて実施した。

【長周期地震動に関する情報について】

〔長周期地震動の予測情報の利用意向〕

(性別 / 年代別 / 地域別 / 自宅の階数別 / 勤務先の階数別)

- 自宅の階数別にみると、15階以上に居住している人では「利用しようと思う」と回答した人の割合が7割台半ば(74.2%)となっており、14階以下に居住している人に比べ17ポイント高くなっている。
- 勤務先の階数別にみると、15階以上に就業している人では「利用しようと思う」と回答した人の割合は6割台半ば(65.1%)となっており、14階以下に就業している人に比べ7ポイント高くなっている。



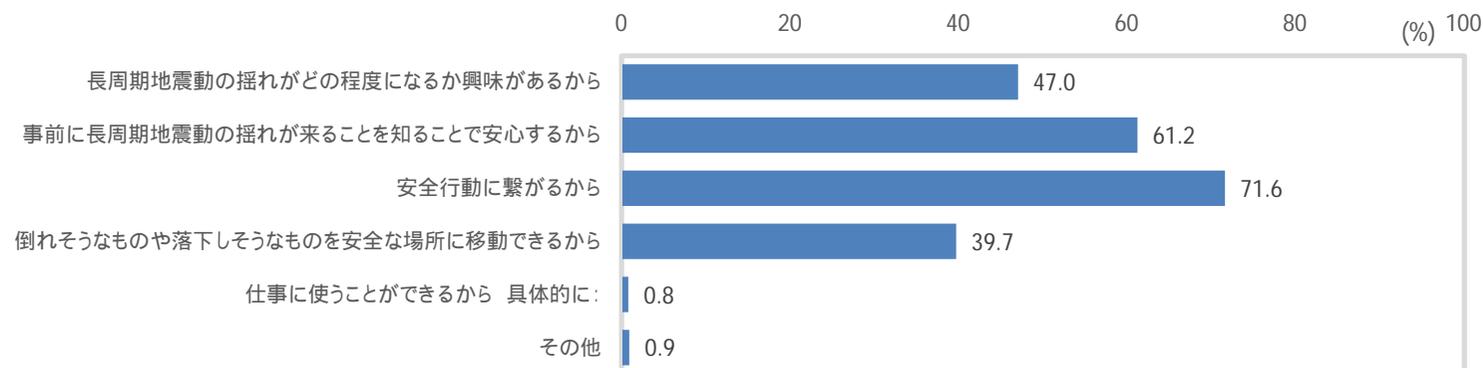
【長周期地震動に関する情報について】

〔長周期地震動の予測情報を利用したいと思う理由〕

- 長周期地震動の予測情報を利用したいと思う理由について、「安全行動に繋がるから」が7割強(71.6%)で最も高く、次いで「事前に長周期地震動の揺れが来ることを知ることによって安心するから」が6割強(61.2%)、「長周期地震動の揺れがどの程度になるか興味があるから」が5割弱(47.0%)となっている。

【Q13】「長周期地震動の予測情報」を利用しようと思う理由は何ですか。(いくつでも)

n=874 ベース:「長周期地震動の予測情報」を利用しようと思う人



【長周期地震動に関する情報について】

〔長周期地震動の予測情報を利用したいと思う理由〕

(性別 / 年代別 / 地域別 / 自宅の階数別 / 勤務先の階数別)

- 男女別にみると、女性では「倒れそうなものや落下しそうなものを安全な場所に移動できるから」が4割台半ば(45.3%)となっており、男性に比べ12ポイント高くなっている。
- 自宅の階数別にみると、15階以上に居住している人では「長周期地震動の揺れがどの程度になるか興味があるから」と回答した人の割合が5割台半ば(54.3%)となっており、14階以下に居住している人に比べ8ポイント高くなっている。一方、14階以下に居住している人では「安全行動に繋がるから」と回答した人の割合が7割強(72.8%)となっており、15階以上に居住している人に比べ23ポイント高くなっている。

* は全体 + 10ポイント以上、 は + 5ポイント以上、 は - 10ポイント以下、 は - 5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		n	長周期地震動の揺れがどの程度になるか興味がある	事前に長周期地震動を知りたい	安全行動に繋がるから	倒れそうなものや落下しそうなものを安全な場所に移動できるから	仕事に使うことができない	その他
全体		874	47.0	61.2	71.6	39.7	0.8	0.9
性別	男性	417	47.5	59.7	69.8	33.6	1.2	0.7
	女性	457	46.6	62.6	73.3	45.3	0.4	1.1
年代別	20代	132	49.2	57.6	73.5	40.2	0.8	0.8
	30代	171	49.1	62.6	72.5	38.0	1.2	0.0
	40代	188	48.9	64.4	70.7	39.4	0.5	1.6
	50代	127	51.2	54.3	69.3	37.0	0.8	0.8
	60代以上	256	41.0	63.3	71.9	42.2	0.8	1.2
地域別	東京23区	567	48.0	61.0	71.8	38.8	0.5	1.4
	大阪市	170	45.3	63.5	72.9	44.1	0.0	0.0
	名古屋市	137	45.3	59.1	69.3	38.0	2.9	0.0
自宅の階数別	14階以下	828	46.6	61.5	72.8	39.7	0.8	0.7
	15階以上	46	54.3	56.5	50.0	39.1	0.0	4.3
勤務先の階数別	14階以下	820	46.7	61.5	71.7	40.1	0.9	1.0
	15階以上	54	51.9	57.4	70.4	33.3	0.0	0.0

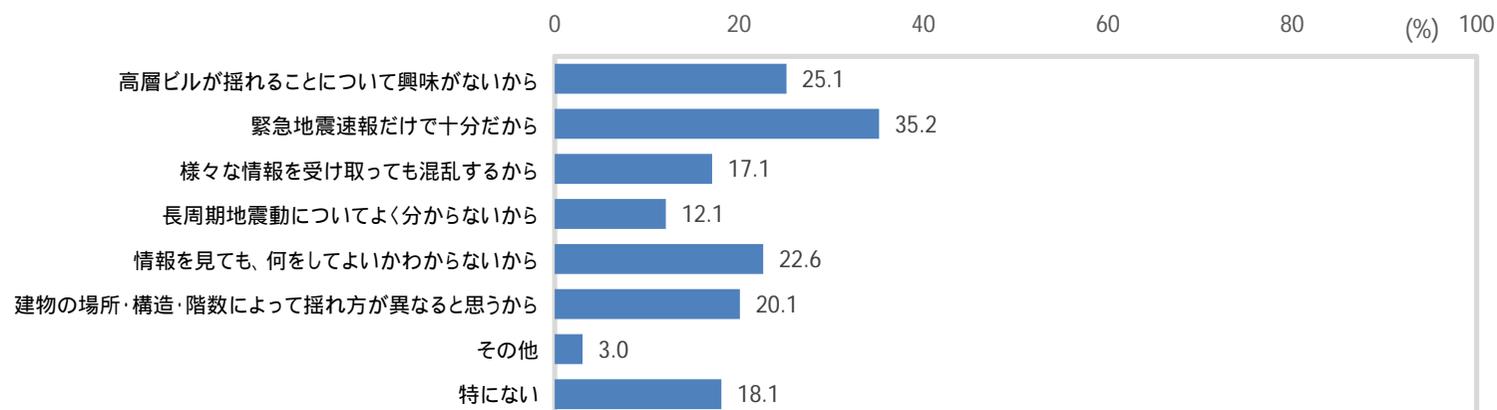
【長周期地震動に関する情報について】

〔長周期地震動の予測情報を利用したいと思わない理由〕

- 長周期地震動の予測情報を利用したいと思わない理由について、「緊急地震速報だけで十分だから」が3割台半ば(35.2%)で最も高く、次いで「高層ビルが揺れることについて興味がないから」が2割台半ば(25.1%)、「情報を見ても、何をしてもよいかわからないから」が2割強(22.6%)となっている。

【Q14】「長周期地震動の予測情報」を利用しようと思わない理由は何ですか。(いくつでも)

n=199 ベース:「長周期地震動の予測情報」を利用しようと思わない人



【長周期地震動に関する情報について】

〔長周期地震動の予測情報を利用したいと思わない理由〕

(性別 / 年代別 / 地域別 / 自宅の階数別 / 勤務先の階数別)

- 男女別にみると、女性では「長周期地震動についてよく分からないから」が約2割 (20.5%) となっており、男性に比べ13ポイント高くなっている。

* は全体 + 10ポイント以上、 は + 5ポイント以上、 は - 10ポイント以下、 は - 5ポイント以下
 * 赤字はベースがn=29以下のため参考値

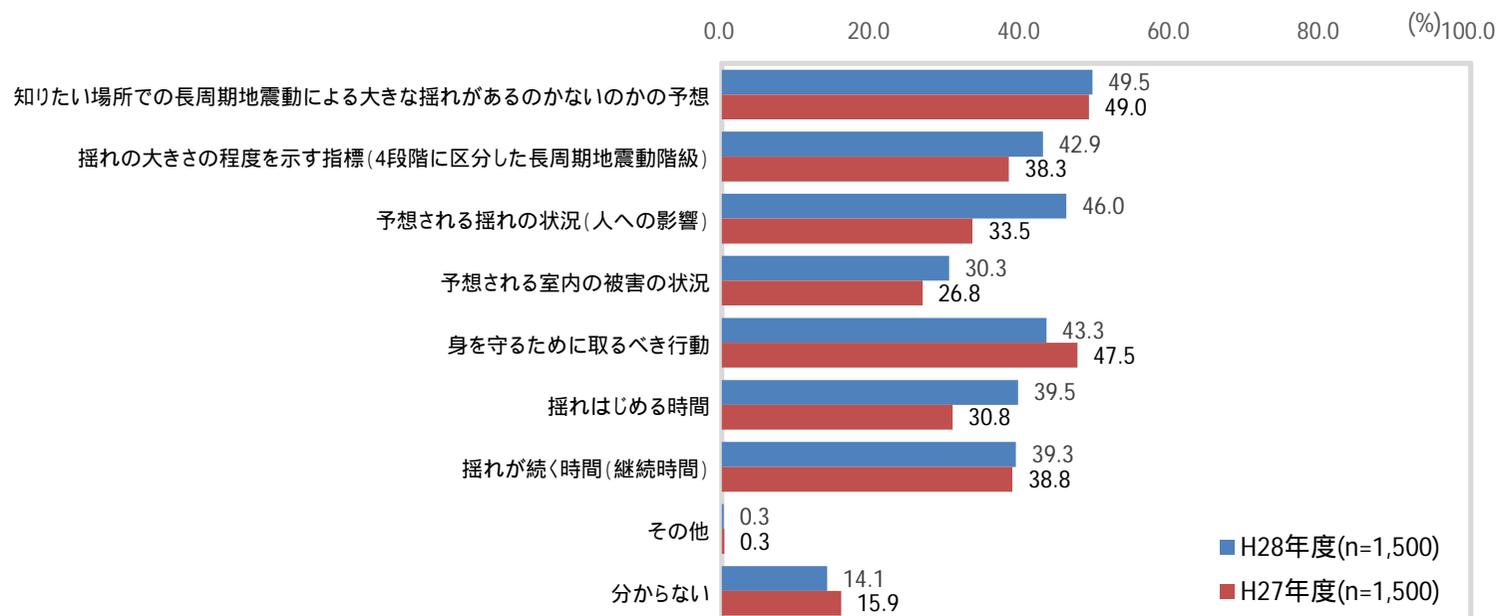
		n	らに高 つ層 いビ てル 興が 味揺 がな るい こと	分緊 だ急 か地 ら震 速報 だけ で十	て様 も々 混な 乱情 す報 るか 受け 取っ	よ長 く周 分期 か地 ら震 動に かつ らいて	らて情 よ報 いを か見 わて かも ら、 な何 いを かし	な数建 るに物 とよの 思っ場 うて所 か揺・ られ構 方造 が・ 異階	そ の 他	特 に ない
全体		199	25.1	35.2	17.1	12.1	22.6	20.1	3.0	18.1
性別	男性	126	26.2	34.9	15.1	7.1	21.4	17.5	4.0	20.6
	女性	73	23.3	35.6	20.5	20.5	24.7	24.7	1.4	13.7
年代別	20代	39	17.9	33.3	17.9	12.8	25.6	10.3	2.6	17.9
	30代	46	17.4	34.8	21.7	13.0	23.9	21.7	0.0	19.6
	40代	37	18.9	37.8	16.2	10.8	29.7	29.7	2.7	24.3
	50代	29	44.8	31.0	13.8	10.3	13.8	10.3	0.0	13.8
	60代以上	48	31.3	37.5	14.6	12.5	18.8	25.0	8.3	14.6
地域別	東京23区	149	25.5	33.6	16.8	12.8	24.2	20.1	4.0	19.5
	大阪市	23	21.7	52.2	17.4	0.0	13.0	26.1	0.0	8.7
	名古屋市	27	25.9	29.6	18.5	18.5	22.2	14.8	0.0	18.5
自宅の階数別	14階以下	191	26.2	36.1	17.3	11.0	22.5	19.9	3.1	17.8
	15階以上	8	0.0	12.5	12.5	37.5	25.0	25.0	0.0	25.0
勤務先の階数別	14階以下	187	26.2	34.2	16.6	11.8	21.9	20.3	3.2	18.2
	15階以上	12	8.3	50.0	25.0	16.7	33.3	16.7	0.0	16.7

【長周期地震動に関する情報について】

〔長周期地震動の予測情報に含まれればよいと思う内容〕

- 長周期時地震動の予測情報に含まれればよいと思うものについて、「知りたい場所での長周期地震動による大きな揺れがあるのかないのかの予想」が5割弱(49.5%)で最も高く、次いで「予想される揺れの状況(人への影響)」が4割台半ば(46.0%)となっている。
- H27年度調査では「予想される揺れの状況(人への影響)」が3割台半ば(33.5%)となっており、大きく上昇している。

【Q15】「長周期地震動の予測情報」には、どのような内容が含まれればよいと思いますか。(いくつでも) 前問で「長周期地震動の予測情報」を「2.利用しようと思わない」、「3.よく分からない」と回答した方も、予測情報の内容としてあればよいと思うものを回答してください。



H28年度調査とH27年度調査では、表現が異なる選択肢がある。

【長周期地震動に関する情報について】

〔長周期地震動の予測情報に含まればよいと思う内容〕

(性別 / 年代別 / 地域別 / 自宅の階数別 / 勤務先の階数別)

- 男女別にみると、女性は男性に比べ全ての項目で高く、特に「身を守るために取るべき行動」はその差が大きく男性に比べ15ポイント高くなっている。
- 自宅の階数別にみると、15階以上に居住している人では「知りたい場所での長周期地震動による大きな揺れがあるのかないのかの予想」「揺れの大きさの程度を示す指標(4段階に区分した長周期地震動階級)」など‘揺れ’に関する情報が14階以下に居住している人に比べ高くなっている。

* は全体 + 10ポイント以上、 は + 5ポイント以上、 は - 10ポイント以下、 は - 5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		n	か揺期知 のれ地り 予が震た 想あ動い るによ所 かるで な大の いき長 のな周	級分示揺 (人への影 響)の揺 れの大 きさの 程 度 を	予 想 さ れ る 揺 れ の 状 況	の 予 想 さ れ る 室 内 の 被 害	身 を 守 る た め に 取 る べ き 行 動	揺 れ は じ め る 時 間	時 間 が 続 く 時 間 (継 続)	そ の 他	分 か ら な い
全体		1500	49.5	42.9	46.0	30.3	43.3	39.5	39.3	0.3	14.1
性別	男性	749	44.9	38.9	40.3	26.3	35.9	33.4	32.8	0.5	18.0
	女性	751	54.1	46.9	51.7	34.4	50.7	45.7	45.7	0.0	10.1
年代別	20代	238	43.7	38.2	49.2	31.5	42.0	33.2	29.8	0.4	17.2
	30代	297	42.8	39.4	47.1	32.0	45.5	36.0	32.3	0.7	14.5
	40代	319	54.2	47.3	46.7	33.2	44.8	42.3	44.5	0.0	12.9
	50代	232	50.4	38.8	38.4	25.4	37.5	34.5	38.8	0.0	15.9
	60代以上	414	53.4	46.9	47.1	29.0	44.7	46.4	45.9	0.2	11.8
地域別	東京23区	983	49.0	41.8	44.9	29.8	42.5	40.5	40.0	0.2	14.0
	大阪市	284	49.3	46.8	47.9	30.3	45.4	41.9	41.2	0.4	15.5
	名古屋市	233	51.5	42.5	48.5	32.6	44.2	32.6	33.9	0.4	12.4
自宅の階数別	14階以下	1438	49.2	42.5	46.2	30.4	43.7	40.1	39.4	0.3	14.6
	15階以上	62	56.5	51.6	41.9	29.0	35.5	27.4	37.1	0.0	1.6
勤務先の階数別	14階以下	1417	49.1	42.6	46.1	30.0	43.7	39.5	39.7	0.3	14.6
	15階以上	83	55.4	47.0	44.6	36.1	37.3	39.8	31.3	0.0	4.8

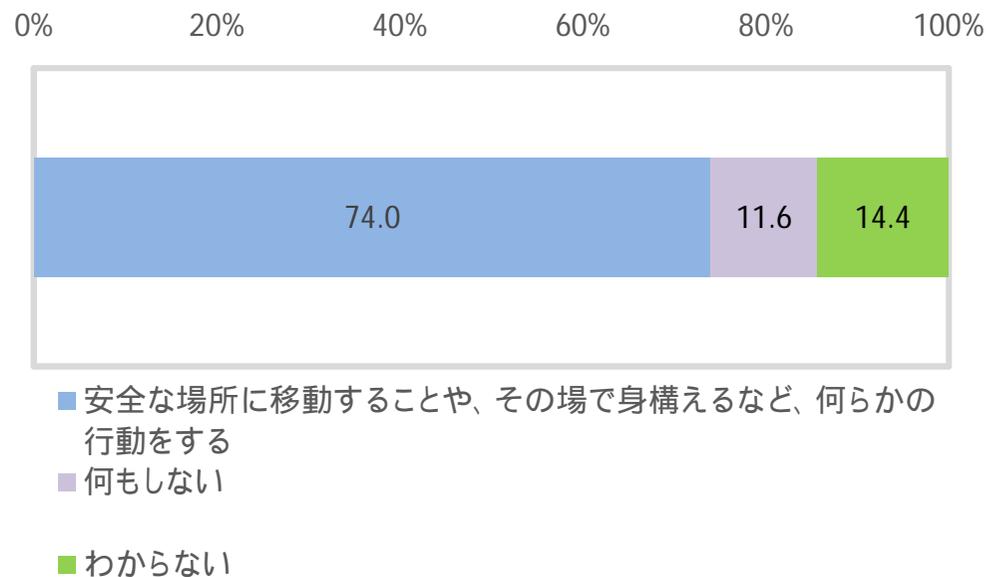
【緊急地震速報を聞いた際の行動について】

〔緊急地震速報を聞いた際の行動の有無〕

- 緊急地震速報を聞いた際の行動の有無について、「安全な場所に移動することや、その場で身構えるなど、何らかの行動をする」と回答した人は7割台半ば(74.0%)、一方「何もしない」と回答した人は1割強(11.6%)となっている。

【Q16】あなたは、緊急地震速報を聞いた場合に、何か行動をしますか。

n=1,500

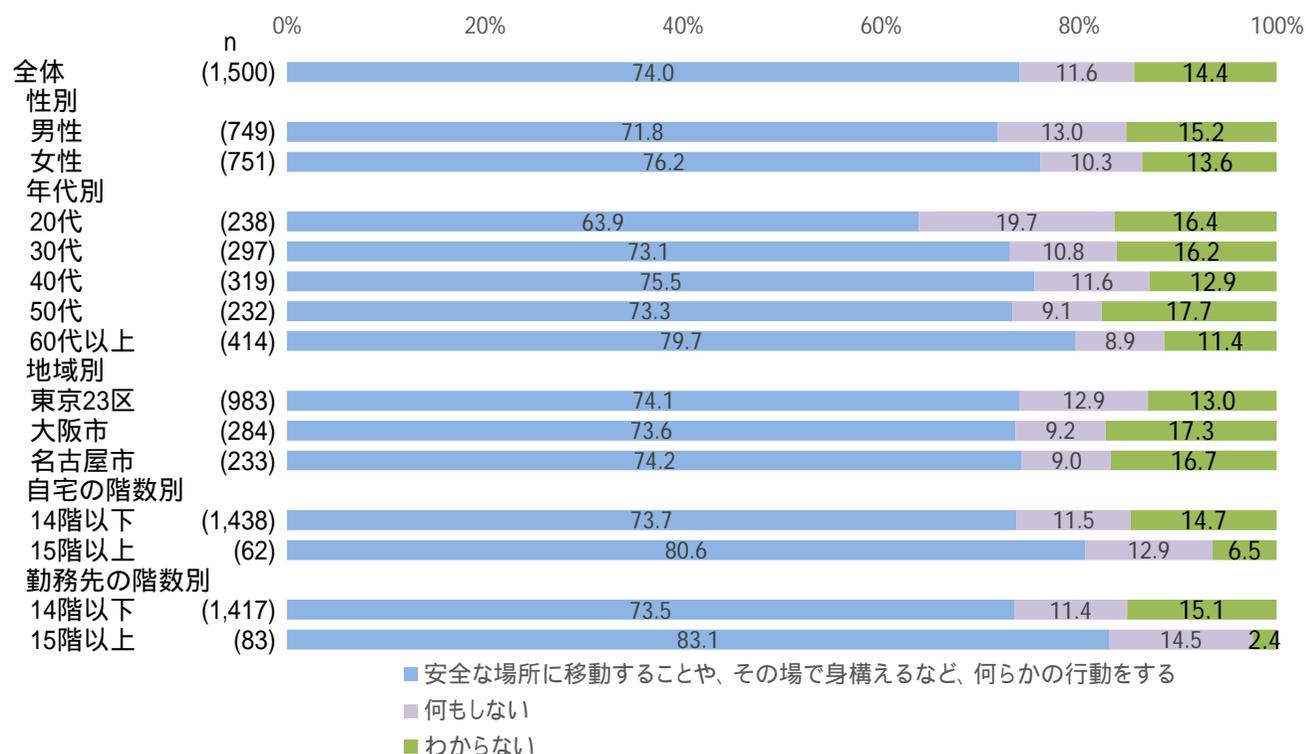


【緊急地震速報を聞いた際の行動について】

〔緊急地震速報を聞いた際の行動の有無〕

(性別 / 年代別 / 地域別 / 自宅の階数別 / 勤務先の階数別)

- 年代別にみると、20代で「何もしない」と回答した人の割合が2割弱(19.7%)となっており、30代以上に比べ10ポイント前後高くなっている。



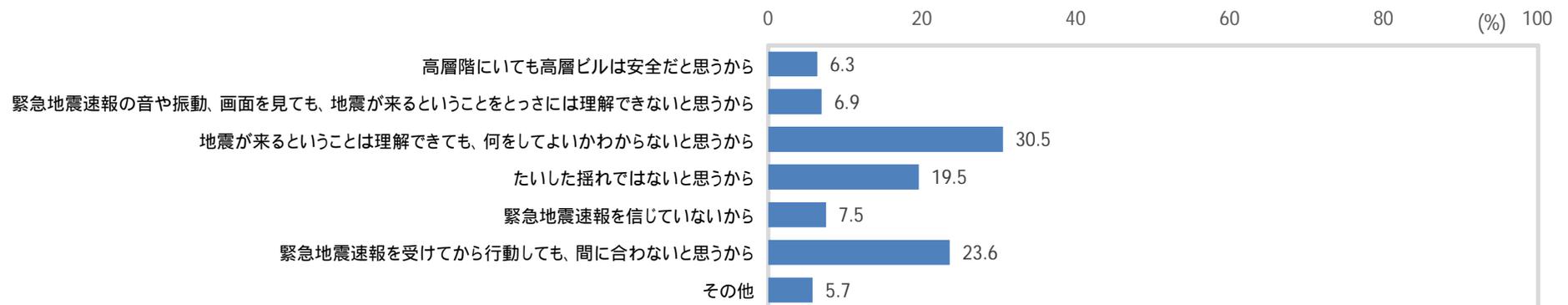
【緊急地震速報を聞いた際の行動について】

〔緊急地震速報を聞いた際、何もしない主な理由〕

- 緊急地震速報を聞いた際、何もしない主な理由について、「地震が来るということは理解できても、何をしてもよいかわからないと思うから」が約3割(30.5%)で最も高く、次いで「緊急地震速報を受けてから行動しても、間に合わないと思うから」が2割台半ば(23.6%)、「たいした揺れではないと思うから」が2割弱(19.5%)となっている。

【Q17】何もしないと思う主な理由は何ですか。

n=174 ベース:「緊急地震速報」を聞いた際、何もしない人



【緊急地震速報を聞いた際の行動について】

〔緊急地震速報を聞いた際、何もしない主な理由〕

(性別 / 年代別 / 地域別 / 自宅の階数別 / 勤務先の階数別)

- 男女別にみると、女性では「地震が来るということは理解できても、何をしてもよいかかわからないと思うから」という回答が3割台半ば(36.4%)となっており、男性に比べ11ポイント高くなっている。
- 年代別にみると、20代では「地震が来るということは理解できても、何をしてもよいかかわからないと思うから」が3割台半ば(34.0%)で最も高く、次いで「たいした揺れではないと思うから」が2割台半ば(25.5%)となっている。

* は全体 + 10ポイント以上、 は + 5ポイント以上、 は - 10ポイント以下、 は - 5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		n	高層階にいたとしても高層ビル	緊急地震速報の見聞かきと地震動の速報を聞いた瞬間に揺れがきこえてきたら	地震が来るかわからない	地震速報を聞いた瞬間に揺れがきこえてきたら	緊急地震速報を信じて	緊急地震速報を受け取らない	その他
全体		174	6.3	6.9	30.5	19.5	7.5	23.6	5.7
性別	男性	97	7.2	7.2	25.8	22.7	9.3	24.7	3.1
	女性	77	5.2	6.5	36.4	15.6	5.2	22.1	9.1
年代別	20代	47	8.5	2.1	34.0	25.5	4.3	21.3	4.3
	30代	32	3.1	6.3	40.6	25.0	6.3	15.6	3.1
	40代	37	2.7	13.5	27.0	16.2	8.1	29.7	2.7
	50代	21	19.0	4.8	23.8	19.0	14.3	14.3	4.8
	60代以上	37	2.7	8.1	24.3	10.8	8.1	32.4	13.5
地域別	東京23区	127	6.3	7.1	27.6	21.3	8.7	23.6	5.5
	大阪市	26	7.7	3.8	34.6	19.2	3.8	26.9	3.8
	名古屋市	21	4.8	9.5	42.9	9.5	4.8	19.0	9.5
自宅の階数別	14階以下	166	5.4	6.0	30.1	20.5	7.2	24.7	6.0
	15階以上	8	25.0	25.0	37.5	0.0	12.5	0.0	0.0
勤務先の階数別	14階以下	162	6.2	7.4	31.5	18.5	7.4	24.1	4.9
	15階以上	12	8.3	0.0	16.7	33.3	8.3	16.7	16.7

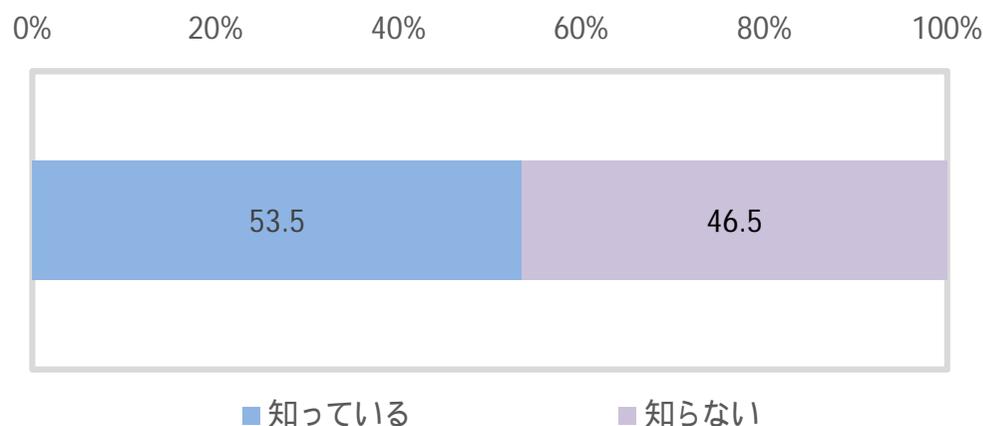
【緊急地震速報の予報について】

〔緊急地震速報の予報の認知度〕

- 緊急地震速報の予報の認知度について、「知っている」と回答した人は5割台半ば(53.5%)となっている。

【Q18】緊急地震速報には、「警報」と「予報」があります。「警報」は、テレビやラジオ、携帯電話などの緊急速報メールで入手ができます。「予報」は、自らが契約した予報取得のための専用の端末で入手できるほか、パソコン、スマートフォン、タブレット等などで入手でき、予測震度や揺れが来るまでの時間などが表示されます。あなたは緊急地震速報の「予報」についてご存知ですか。

n=1,500

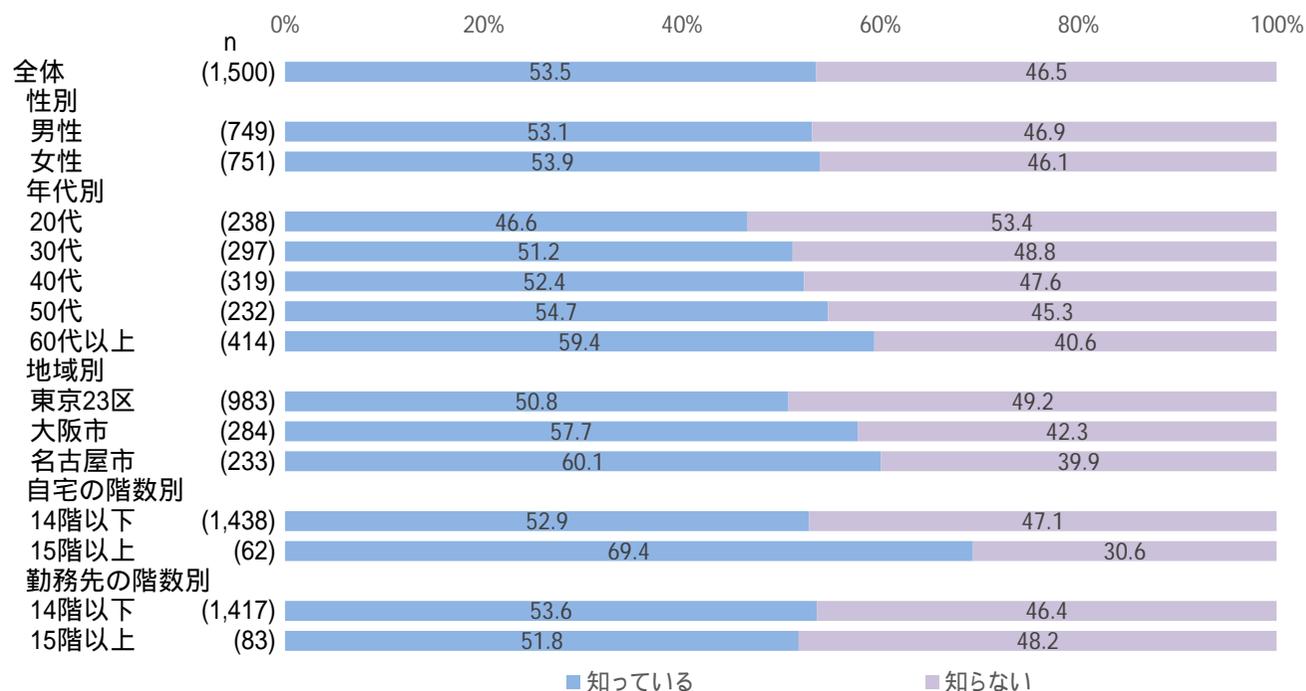


【緊急地震速報の予報について】

〔緊急地震速報の予報の認知度〕

(性別 / 年代別 / 地域別 / 自宅の階数別 / 勤務先の階数別)

- 年代別にみると、高齢層ほど「知っている」と回答した人の割合が高くなっている。
- 地域別にみると、東京23区では「知っている」と回答した人の割合は約5割(50.8%)となっており、他地域に比べ低くなっている。
- 自宅の階数別にみると、15階以上に居住している人では「知っている」と回答した人の割合は7割弱(69.4%)となっており、14階以下に居住している人に比べ17ポイント高くなっている。



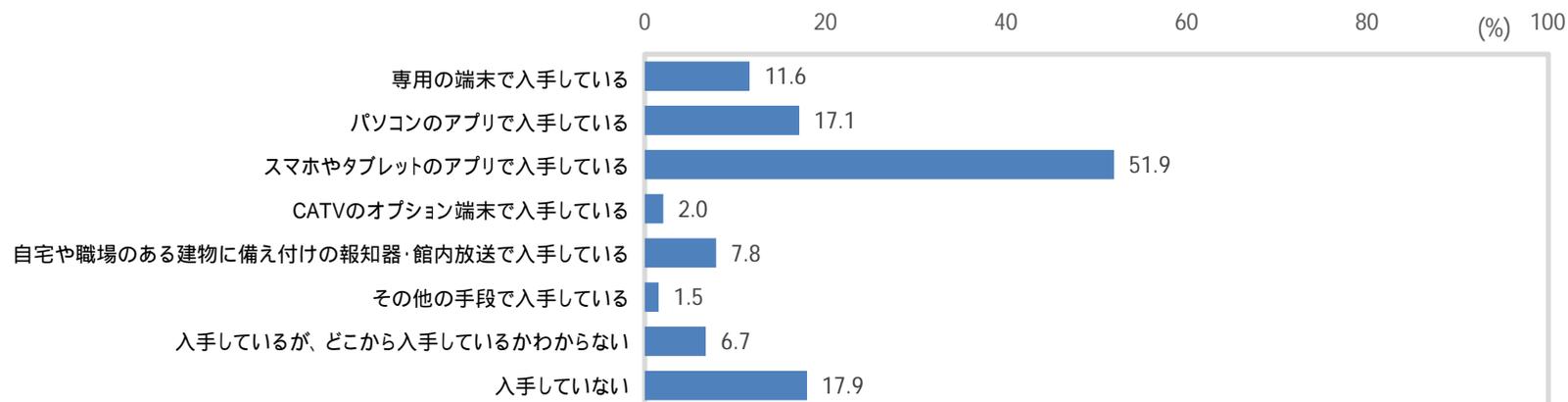
【緊急地震速報の予報について】

〔緊急地震速報の予報の入手経路〕

- 緊急地震速報の予報の入手経路について、「スマホやタブレットのアプリで入手している」と回答した人は5割強(51.9%)で最も高く、次いで「パソコンのアプリで入手している」が2割弱(17.1%)となっている。
- 「入手していない」という回答が2割弱(17.9%)となっていることから、緊急地震速報の予報の利用者は認知者のうちの8割強と考えることができる。

【Q19】あなたは、緊急地震速報の「予報」をどのような手段で入手していますか。(いくつでも)

n=803 ベース：緊急地震速報の予報を知っている人



【緊急地震速報の予報について】

〔緊急地震速報の予報の入手経路〕

(性別 / 年代別 / 地域別 / 自宅の階数別 / 勤務先の階数別)

- 男女別にみると、男性では「パソコンのアプリで入手している」と回答した人の割合が2割強(22.9%)となっており、女性に比べ12ポイント高くなっている。
- 自宅の階数別にみると、15階以上に居住している人では「パソコンのアプリで入手している」と回答した人の割合は3割強(32.6%)となっており、14階以下に居住している人に比べ16ポイント高くなっている。
- 勤務先の階数別にみると、15階以上に就業している人では「自宅や職場のある建物に備え付けの報知器・館内放送で入手している」と回答した人の割合は約2割(20.9%)となっており、14階以下に就業している人に比べ14ポイント高くなっている。

* は全体 + 10ポイント以上、 は + 5ポイント以上、 は - 10ポイント以下、 は - 5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		n	専用の端末で入手している	パソコンのアプリで入手している	スマホやタブレットで入手している	C端末で入手している	館内放送や職場の報知器・建物	その他の手段で入手している	から入手しているが、かわ	入手していない
全体		803	11.6	17.1	51.9	2.0	7.8	1.5	6.7	17.9
性別	男性	398	14.6	22.9	53.3	2.5	10.1	2.0	5.0	13.1
	女性	405	8.6	11.4	50.6	1.5	5.7	1.0	8.4	22.7
年代別	20代	111	18.0	20.7	43.2	3.6	12.6	0.0	11.7	20.7
	30代	152	13.2	15.1	55.3	1.3	7.9	1.3	6.6	15.1
	40代	167	11.4	7.8	56.3	1.2	9.0	0.6	4.8	19.2
	50代	127	10.2	20.5	57.5	0.8	5.5	0.8	5.5	14.2
	60代以上	246	8.5	21.1	48.0	2.8	6.1	3.3	6.5	19.5
地域別	東京23区	499	9.8	18.0	51.3	1.2	8.2	1.8	6.2	19.4
	大阪市	164	14.6	13.4	54.9	3.7	6.1	1.2	7.9	14.6
	名古屋市	140	14.3	17.9	50.7	2.9	8.6	0.7	7.1	16.4
自宅の階数別	14階以下	760	11.2	16.2	51.4	1.7	7.5	1.6	6.8	18.6
	15階以上	43	18.6	32.6	60.5	7.0	14.0	0.0	4.7	7.0
勤務先の階数別	14階以下	760	11.2	16.7	52.0	1.8	7.1	1.6	6.8	18.4
	15階以上	43	18.6	23.3	51.2	4.7	20.9	0.0	4.7	9.3